
PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 海外赴任管理

2006 年 12月

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 海外赴任管理
SKU HRMS9HTG-B 1206JPN
Copyright © 1988–2006, Oracle. All rights reserved.

本プログラム（ソフトウェアおよび文書）には、財産的情報が含まれています。本プログラムは、使用および公開に関する制約が明記されたライセンス契約に従うことを条件として提供され、著作権、特許権などの知的財産権法および産業財産権法により保護されています。本プログラムのリバース エンジニアリング、逆アセンブル、または逆コンパイルは、他の独立したソフトウェアとの相互運用性の確保に必要とされる範囲または法的に規定された範囲を除き、禁じます。

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。本書の内容に問題があった場合は、当社まで書面によりご通知ください。Oracle は、本書の内容に全く誤りがないことを保証するものではありません。ライセンス契約に明示的に規定された場合を除き、形式または手段（電子的、機械的など）、および目的の如何にかかわらず、本プログラムを複製または転送することを禁じます。

本プログラムが、アメリカ合衆国政府、またはその代理として本プログラムを使用する者に提供される場合には、以下の条項が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are “commercial computer software” or “commercial technical data” pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software—Restricted Rights (June 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

本プログラムは、原子力、航空、大量輸送、医療などの本質的に危険を伴う用途を目的として作成されていません。危険を伴う用途に本プログラムを使用する場合の障害対策、バックアップ、および冗長構成などの適切な措置を講じた安全性の確保は、ライセンス供与を受けた者の責任とし、これらの用途に使用された場合のいかなる損失や障害について、当社は一切責任を負いません。

本プログラムには、Web サイトへのリンクが含まれており、サードパーティのコンテンツ、製品、およびサービスへのアクセスが発生する場合があります。サードパーティの Web サイトの運用およびそのコンテンツについて、Oracle は一切責任を負いません。これらのコンテンツの使用上の全ての責任は、使用者が負うこととします。サードパーティから製品またはサービスを購入する場合は、その購入者とサードパーティの間の直接取引になります。(a) サードパーティの製品またはサービスに関する品質、(b) サードパーティとの契約におけるいかなる条件の遵守（製品またはサービスの提供、また、購入された製品またはサービスに関する保証義務など）について、Oracle は一切責任を負いません。サードパーティとの取引に伴ういかなる損失や障害について、Oracle は一切責任を負いません。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、および Siebel は、米国 Oracle Corporation およびその関連会社の両方またはいずれかの登録商標です。その他の会社名および製品名は所有各社の商標です。

オープン ソースの利用について

Oracle は、オープンソースまたはシェアウェアのソフトウェアの使用または配布について責任を負いません。また、これらのソフトウェアまたは文書の使用によるいかなる損失や障害についても一切責任を負いません。Oracle の PeopleSoft 製品には以下のオープンソースソフトウェアが使用される場合があります、これらには下記の免責条項が適用されます。

Apache Software Foundation

この製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。Copyright (c) 2000–2003. The Apache Software Foundation. All rights reserved. ライセンスは、Apache ライセンス バージョン 2.0 (以下「ライセンス」) に基づいて許可されます。ライセンスの順守なく、このファイルを使用することは禁じられています。ライセンスのコピーは、<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0> で入手できます。

適用法により求められた場合、または書面をもって同意された場合を除き、ライセンスに基づいて配布されたソフトウェアは、明示的、黙示的を問わず一切の保証または条件なしに現状のまま提供されています。特定の言語下のライセンス許諾事項および制限事項については、ライセンスを確認してください。

OpenSSL

Copyright (c) 1998–2005 The OpenSSL Project. All rights reserved.

この製品には、OpenSSL Project (<http://www.openssl.org/>) によって OpenSSL Toolkit 用に開発されたソフトウェアが含まれています。

このソフトウェアは OpenSSL Project によって現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。OpenSSL Project およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、OpenSSL Project は一切責任を負いません。

Loki Library

Copyright (c) 2001 by Andrei Alexandrescu. このコードは次の書籍に掲載されています。Alexandrescu, Andrei. “Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied”. Copyright (c) 2001 Addison-Wesley. このソフトウェアの複製、変更、配布、および販売は、その目的を問わず、全ての複製に上記の著作権表示を付すること、付属文書に著作権表示およびこの許可表示の両方を付することを条件に許可されます。

Helma Project

Copyright (c) 1999–2004 Helma Project. All rights reserved. このソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。Helma Project およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、Helma Project は一切責任を負いません。

Helma には、個別のライセンス条件に基づいてリリースされたサードパーティソフトウェアが含まれます。ライセンスの一覧については、Helma のディストリビューションに含まれるライセンス ディレクトリを参照してください。

Sarissa

Copyright (c) 2004 Manos Batsis.

このライブラリは、フリー ソフトウェアです。フリー ソフトウェア財団 (Free Software Foundation) によって発行された GNU Lesser General Public License (バージョン 2.1 またはそれ以降のバージョン) の定める条件の下で再配布や修正を行うことができます。

このライブラリの有用性は保証されるものではなく、商品性や特定の目的への適合性に対する黙示的な保証を含め、一切の保証なく配布されます。詳細については、GNU Lesser General Public License を参照してください。

GNU Lesser General Public License は、このライブラリと共に提供されています。提供されていない場合は、Free Software Foundation, Inc. (59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA) にお問い合わせください。

ICU

ICU ライセンス – ICU 1.8.1 およびそれ以降の著作権表示および許可表示 Copyright (c) 1995–2003 International Business Machines Corporation and others. All rights reserved.

本ソフトウェアおよび関連文書ファイル (以下「ソフトウェア」) の複製を取得する全ての人に対し、ソフトウェアの複製を使用、複写、変更、結合、掲載、配布、および/または販売する権利およびソフトウェアを提供する相手に同じことを許可する権利等を含む、ソフトウェアの無制限の取扱いを、上記の著作権表示およびこの許可表示がソフトウェアの全ての複製に付され、付属文書にも記載されることを条件に無償で許可します。ソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性、特定の目的への適合性、およびサードパーティの権利の非侵害に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。この表示に示された著作権保持者は、いかなる損害賠償または損害に対する責任を負いません。契約行為、過失、またはその他の不法行為であっても、本ソフトウェアの使用や機能に起因または関係する、特殊、間接的、または結果的損害、あるいは有用性、データまたは利益の損失による損害か否かにかかわらず、著作権保持者は一切責任を負いません。この許可表示に記載されている場合を除き、著作権保持者による書面による事前の許可がない限り、著作権保持者の名前は広告や、その他の販売/使用プロモーション、またはこのソフトウェアのその他の取引に使用できません。

ここに記載された名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Sun の JAXB 実装 – JDSDK 1.5 relaxngDatatype.jar 1.0 ライセンス

Copyright (c) 2001, Thai Open Source Software Center Ltd, Sun Microsystems. All rights reserved.

このソフトウェアは著作権保持者およびその共同提供者によって現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。開発者およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、開発者は一切責任を負いません。

W3C IPR SOFTWARE NOTICE

Copyright (c) 2000 World Wide Web Consortium, (Massachusetts Institute of Technology, Institut National de Recherche en Informatique et en Automatique, Keio University). All Rights Reserved.

注: W3C Software Copyright Notice and License の原著は、<http://www.w3.org/Consortium/Legal/copyright-software-19980720> で入手できます。

このソフトウェアおよび文書は現状のまま提供されており、著作権保持者は、商品性、特定の目的への適合性、およびソフトウェアおよび文書の使用によるサードパーティの特許権、著作権、商標またはその他の権利の非侵害に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の表明や保証を行うものではありません。著作権保持者は、ソフトウェアまたは文書の使用にかかわる直接的、間接的、特殊、必然的ないかなる損害に対しても責任を負いません。

目次

はじめに

この PeopleBook について	ix
PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識.....	ix
アプリケーションの基礎.....	ix
最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手.....	x
最新版ドキュメンテーションの入手 (英語版のみ).....	x
出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード.....	x
追加情報.....	xi
表記規則.....	xii
表記規則.....	xii
注意事項の表示.....	xiii
国、地域、業種の表記.....	xiv
通貨コード.....	xiv
ご意見・ご要望をお寄せください.....	xiv
PeopleBook で使用する共通フィールド.....	xv

まえがき

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理: 海外赴任管理 – まえがき.....	xix
対象の PeopleSoft 製品.....	xix
PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎.....	xix
PeopleBook の構成.....	xix

第 1 章

海外赴任管理 – はじめに.....	1
海外赴任管理ビジネス プロセスの概要.....	1
海外赴任管理ビジネス プロセス.....	3
海外赴任管理ビジネス プロセスの統合.....	3
海外赴任管理ビジネス プロセスの導入.....	4

第 2 章

海外赴任管理の設定.....	5
海外赴任管理の特殊なセキュリティ オプションについて.....	5
海外赴任タイプの定義.....	7

海外赴任タイプの定義に使用するページ.....	7
新規赴任タイプの作成.....	7
会社負担旅費タイプの指定.....	8
会社負担旅費タイプの指定に使用するページ.....	8
会社負担旅費タイプの指定.....	8
海外赴任給与における支給/控除の定義.....	9
海外赴任給与における支給/控除について.....	9
海外赴任給与における支給/控除の定義に使用するページ.....	10
控除コードと分類情報の追加.....	10
税措置の定義.....	11
支給コードの追加.....	11
海外赴任管理におけるスクール情報の設定.....	12
海外赴任管理におけるスクール情報について.....	12
海外赴任管理におけるスクール情報の設定に使用するページ.....	13
スクールおよびオリエンテーション プログラムの情報の入力.....	13
スクールとプログラムの連絡先情報の管理.....	14

第 3 章

海外赴任管理の使用.....	17
海外赴任管理について.....	17
チェックリストの作成.....	17
チェックリストの作成について.....	17
チェックリスト作成に使用するページ.....	18
従業員の本国/赴任先データの管理.....	18
従業員の本国/赴任先データの管理に使用するページ.....	19
本国情報の定義および管理.....	20
赴任先情報の定義および管理.....	20
赴任者のコンピテンシーの定義.....	21
赴任の開始.....	21
赴任の終了.....	21
従業員の終身異動.....	21
赴任先の追加.....	22
本国/赴任先データの表示および更新.....	23
本国/赴任先の給与計算データの追加および表示.....	24
本国/赴任先の赴任データの追加および表示.....	25
本国/赴任先の福利厚生データの追加および表示.....	26
本国/赴任先データレコードが複数存在する場合の赴任管理.....	27
従業員が本国で複数の職務を兼任している場合の赴任データの追加.....	27
従業員が赴任を複数兼任する場合の赴任データの追加.....	27

複数の本国/赴任先データと単一の赴任との関連付け.....	28
従業員の赴任データの管理.....	28
従業員の赴任データの管理に使用するページ.....	29
赴任に関する基本データの入力.....	29
本国/赴任先情報の入力.....	30
本国の住居および家具に関する情報の入力.....	32
赴任先の住居および家具に関する情報の入力.....	32
本国/赴任先の乗用車情報の管理.....	33
海外赴任従業員に関する会社負担旅費の管理.....	35
海外赴任従業員の会社負担旅費の管理に使用するページ.....	35
海外赴任従業員に関する会社負担旅費の管理.....	35
海外赴任従業員の扶養家族情報の管理.....	36
海外赴任従業員の扶養家族情報の管理に使用するページ.....	37
扶養家族データの入力.....	37
赴任に同行する家族データの入力および管理.....	37
扶養家族データの表示.....	39
海外赴任給与と為替変動の管理.....	39
海外赴任給与と為替変動の管理に使用するページ.....	40
海外赴任給与の管理.....	40
 第 4 章	
インターナショナル スクール/プログラム助成金の管理.....	43
インターナショナル スクール/プログラムの助成金の管理.....	43
助成金データの管理に使用するページ.....	43
助成金データの管理.....	43
 PeopleSoft Enterprise 用語一覧.....	47
 索引	67

この PeopleBook について

PeopleSoft Enterprise PeopleBook には、オラクル社の PeopleSoft Enterprise アプリケーションの導入と使用に必要な情報が提供されています。

ここでは、以下の事項について説明します。

- PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識
- アプリケーションの基礎
- 最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手
- 追加情報
- 表記規則
- ご意見・ご要望について
- PeopleBook で使用する共通フィールド

注: PeopleBook では、追加の説明が必要な場合のみ、フィールドやチェック ボックスなどの説明を記載しています。処理や業務の説明箇所に、そこで使用されるフィールドの説明がない場合は、追加の説明が必要ないか、または、PeopleBook のセクション、章、PeopleBook 全体、または製品ライン全体で使用される共通フィールドとして説明されています。共通フィールドについては、この章の後半を参照してください。

PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識

この PeopleBook の内容を十分に理解して活用するには、PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基本的な使い方を熟知している必要があります。

また、少なくとも 1 つの入門トレーニング コースを修了することをお勧めします。

この PeopleBook では、ユーザーが PeopleSoft Enterprise のメニューやページ、ウィンドウなどを使って情報を追加、更新、削除できることを前提としています。また、Web ブラウザと、Microsoft Windows または Microsoft Windows NT の操作に習熟していることも必要です。

ここでは、PeopleSoft システムを操作できることを前提としているため、操作手順についての説明は省略しています。この PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise システムを効果的に使っていただくために必要な情報や、PeopleSoft Enterprise アプリケーションを導入するために必要な情報を提供します。

アプリケーションの基礎

各アプリケーションの PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise アプリケーションを導入して使用するための情報を提供しています。

一方、一部のアプリケーションについて、システムを設定したり設計するときに必要となる情報は、『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれています。『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』は、ほとんどの製品ラインに用意されています。それぞれの PeopleBook のまえがきに、関連する『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』の情報が記載されています。

『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』で取り上げている項目は、どの PeopleSoft Enterprise アプリケーションにも当てはまる、あるいはその多くに共通する重要なものばかりです。PeopleSoft システムを導入する場合、1 つのアプリケーションだけを導入する、製品ラインの中からいくつかのアプリケーションを組み合わせで導入する、または製品ライン全体を導入するといったように複数の選択肢がありますが、いずれの場合でも、この『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている内容を十分に理解しておく必要があります。基礎的な内容を理解することが、導入タスクに着手する出発点となります。

最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 最新版ドキュメンテーションの入手（英語版のみ）
- 出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード

最新版ドキュメンテーションの入手（英語版のみ）

本リリースおよび旧リリースの最新版および追加ドキュメンテーションは、オラクル社の PeopleSoft Customer Connection Web サイトから入手できます。オラクル社の PeopleSoft Customer Connection にある Documentation セクションでファイルをダウンロードし、既存の PeopleBook ライブラリに追加することができます。PeopleBook の CD-ROM に含まれる PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーション全体へのアップデートを含め、役に立つ最新情報が掲載されています。

重要: アップグレードが必要な場合は、オラクル社の PeopleSoft Customer Connection でアップグレードに関する指示に変更がないか確認してください。常に、アップグレード処理に関する最新情報が掲載されています。

関連項目:

オラクル社の PeopleSoft Customer Connection: http://www.oracle.com/support/support_peoplesoft.html

出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード

PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーションは、PeopleBook CD-ROM に収録されていますが、オラクル社の Web サイトから入手することもできます。以下のいずれかの方法で入手できます。

- PDF ファイルをダウンロードする。
- 印刷・製本されたドキュメンテーションを注文する。

PDF ファイルのダウンロード

PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーションの PDF 版は、Oracle Technology Network からオンラインでダウンロードできます。PDF ファイルは、メジャー リリースごとに提供され、ソフトウェア出荷後にオンラインで入手できます。

参照: Oracle Technology Network: <http://www.oracle.com/technology/documentation/psftent.html>.

印刷・製本されたドキュメンテーションの注文

印刷・製本されたドキュメンテーションは、Oracle Store から注文できます。

参照: Oracle Store: http://oraclestore.oracle.com/OA_HTML/ibeCCtpSctDspRte.jsp?section=14021

追加情報

オラクル社の PeopleSoft Customer Connection Web サイトから、以下の情報を入手できます。

情報	ナビゲーション
アプリケーションのメンテナンス情報	[Updates + Fixes]
ビジネスプロセス図	[Support]、[Documentation]、[Business Process Maps]
インタラクティブ サービス リポジトリ	[Support]、[Documentation]、[Interactive Services Repository]
ハードウェア要件とソフトウェア要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Hardware and Software Requirements]
インストール ガイド	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Installation Guides and Notes]
統合情報	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Pre-Built Integrations for PeopleSoft Enterprise and JD Edwards EnterpriseOne Applications]
最低要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Supported Platforms]
最新版ドキュメンテーション	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]
PeopleBook サポート ポリシー	[Support]、[Support Policy]
プレリリース ノート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Notes]
製品出荷予定	[Support]、[Roadmaps + Schedules]

情報	ナビゲーション
リリースノート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Notes]
リリースバリュープロポジション	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Value Proposition]
製品概要	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Statement of Direction]
トラブルシューティング情報	[Support]、[Troubleshooting]
アップグレード関連のドキュメンテーション	[Support]、[Documentation]、[Upgrade Documentation and Scripts]

表記規則

このセクションでは、以下の事項について説明します。

- 表記規則
- 注意事項の表示
- 国、地域、業種の表記
- 通貨コード

表記規則

PeopleBook は、次の表記規則に従って記述されています。

表記規則	説明
太字	PeopleCode の関数名、メソッド名、言語要素や、関数呼び出しでそのまま記述すべき PeopleCode の予約語は太字で記述しています。
斜体	PeopleCode の構文で、プレースホルダとなる引数部分は斜体になっています。
キー + キー	キーを組み合わせる操作を示しています。キー名とキー名の間にプラス記号がある場合は、最初のキーを押しながら 2 番目のキーを押すという意味です。たとえば、Alt + W は、Alt キーを押しながら W キーを押すことを表します。

表記規則	説明
monospace font (固定幅のフォント)	PeopleCode のプログラムや、その他のコードの例の表記には、この固定幅のフォントを使用しています。
...(省略記号)	PeopleCode の構文で、先行要素の任意の繰り返しを示します。
{ }(中かっこ)	PeopleCode の構文で、2つの選択肢のうちいずれか一方を選択することを示します。選択肢は縦棒()で区切られています。
[](角かっこ)	PeopleCode の構文で、省略できる要素を示します。
&(アンパサンド)	PeopleCode の構文で、アンパサンドが頭に付いたパラメータはインスタンス化されたオブジェクトであることを示します。 また、PeopleCode の変数は必ずアンパサンドが頭に付きます。

注意事項の表示

注意事項は、以下のような形式で示されています。

注

PeopleSoft Enterprise システムを使って作業するときの注意事項が書かれています。

注: 注意事項は、このような形式で示しています。

システムが正しく機能するために必ず守っていただきたい大切な事柄は、“重要:”と示されています。

重要: 重要な注意事項は、このような形式で示しています。

警告

PeopleSoft システムの導入にあたって、特に注意しなければならない重要な事柄は、“警告:”と示されています。“警告:”と書かれた部分には十分な注意を払ってください。

警告: 警告は、このような形式で示しています。

相互参照

相互参照は、“参照:”、または“関連項目:”という形で示しています。すぐ前で説明した情報に関連する他のドキュメンテーションが相互参照として示されています。

国、地域、業種の表記

特定の国、地域、業種にのみ関連する情報については、国や地域名などをかっこ書きで付記して示しています。このような国や地域の表示は、通常はセクションの見出しに付記されますが、注意事項などに付記されることもあります。

特定の国を対象とした見出しの例: 「(FRA) 従業員の採用」

特定の地域を対象とした見出しの例: 「(中南米) 減価償却の設定」

国の表記

国際標準化機構 (ISO) が定める国コードを使って表記しています。

地域の表記

地域を表す名称で表記しています。以下に例を示します。

- アジア太平洋
- ヨーロッパ
- 中南米
- 北米

業種の表記

業種を表す名称か略称を使って表記しています。以下に例を示します。

- USF (米国連邦政府)
- E&G (教育/公的機関)

通貨コード

金額は ISO が定める通貨コードを使って表記しています。

ご意見・ご要望をお寄せください

PeopleBook についてのご意見、ご要望を下記にお寄せください。

〒158-0097
東京都世田谷区用賀 4-10-1
SBS タワー 13F

(日本オラクル株式会社内) 日本オラクルインフォメーションシステムズ株式会社
WPTG ランゲージマネジャー宛

TEL: 03-5797-6471

または、ETSJPN_US@ORACLE.COM へ電子メールでご連絡ください。

いただいた電子メール全てにご返答のできない場合もありますが、弊社では皆様のご意見やご要望に留意し、貴重な情報として今後の参考にさせていただきます。

PeopleBook で使用する共通フィールド

指定日	この日付までのデータが、レポートまたはプロセスの対象になります。
ビジネス ユニット	ビジネス情報をまとめる上位レベルの組織の ID です。ビジネス ユニットを利用して、1 つの大きな組織の中に地域別または部門別に複数のユニットを定義することができます。
説明	30 文字までのテキストを入力できます。
有効日	テーブル行が有効になる日付、またはアクションが開始される日付です。たとえば、元帳を 6 月 30 日に締める場合、元帳締めの有効日は 7 月 1 日となります。情報をいつ表示、変更できるかも有効日により管理されます。この情報を使用するページやバッチ処理では、現在行が使用されます。
1 回限り、常時処理、実行しない	<p>“1 回限り” を選択すると、次のバッチ処理実行時にリクエストが実行されます。バッチ処理が実行されると、処理頻度は自動的に “実行しない” に設定されます。</p> <p>“常時処理” を選択すると、バッチ処理が実行されるたびに毎回リクエストが実行されます。</p> <p>“実行しない” を選択すると、バッチ処理が実行されてもこのリクエストは実行されません。</p>
プロセス モニター	このリンクをクリックすると、プロセス リスト ページに移動して、送信したプロセス リクエストのステータスを確認できます。
レポート マネージャ	このリンクをクリックすると、レポート リスト ページに移動して、レポート内容の表示、レポート ステータスの確認、レポートと配信リストの詳細を表示する内容詳細メッセージの照会を行うことができます。
リクエスト ID	レポートまたはプロセスの選択条件のセットを表す ID です。
実行	このボタンをクリックしてプロセス リクエスト ページにアクセスすると、プロセスまたはジョブの実行場所、およびプロセスの出力フォーマットを指定できます。
セットID	コントロール テーブル情報のセット、つまり、テーブルセットを表す ID です。テーブルセットを使用すると、コントロール テーブル情報や処理オプションをビジネス ユニット間で共有できます。これは、データの重複やシステムメンテナンスの作業を減らすために使用されます。ビジネス ユニット内のレコード グループにセットID を割り当てると、レコード グループ内の全てのテーブルは、そのビジネス ユニットと、そのレコード グループに同じセットID を割り当てているその他のビジネス ユニットとの間で共有されます。たとえば、いくつかのビジネス ユニット間で共有される共通の職務コードのグループを定義したりできます。職務コードを共有する各ビジネス ユニットには、そのレコードについて同じセットID が割り当てられます。
略称	15 文字までのテキストを入力できます。
ユーザー ID	トランザクションを実行する人物を表す ID です。

ここからは EnterpriseOne
の用語です。

住所録番号	エンティティのマスター レコードを識別する固有の番号を入力します。住所録番号は、顧客、仕入先、会社、従業員、応募者、加入者、テナント、などの ID として使用できます。アプリケーションによっては、ページ上の住所録番号フィールドが、顧客番号、仕入先番号、会社番号、従業員 ID、応募者 ID、参加者 ID、などに相当する場合があります。
仮定通貨コード	取引金額の表示に使う通貨を指定する 3 文字のコードを入力します。このコードを使用すると、取引を最初に入力したときに使用した外国通貨または国内通貨以外の任意の通貨で、取引金額を表示できます。
バッチ番号	システムで処理されるトランザクションのグループを表す番号が表示されます。バッチ番号は入力フォーム上で割り当てることができます。自動採番プログラム (P0002) を使用して自動的に割り当てることもできます。
バッチ日付	バッチが作成される日付を入力します。このフィールドを空白にすると、システム日付がバッチ日付になります。
バッチ状況	<p>バッチの転記状況を示すユーザー定義コード (UDC) テーブル 98/IC のコードが表示されます。有効な値は次のとおりです。</p> <p>空白: バッチは転記されず、承認が保留状態になります。</p> <p>A: バッチにエラーがなく転記が承認されますが、保留状態でまだ転記されていません。</p> <p>D: バッチが正常に転記されています。</p> <p>E: バッチにエラーがあります。転記する前にバッチを修正する必要があります。</p> <p>P: バッチの転記中です。転記が完了するまでバッチは使用できません。転記中にエラーが発生すると、バッチ状況は E に変更します。</p> <p>U: 別のユーザーがバッチを操作中のため一時的に使用できないか、またはバッチの処理中に停電があったため、バッチが使用中と認識されています。</p>
事業所	個別のエンティティ (倉庫、作業、プロジェクト、ワーク センター、配送と製造を行う事業所) を表すコードを入力します。一部のシステムでは、ビジネス ユニットと呼ばれます。
ビジネス ユニット	コストの追跡対象となる業務内の個別のエンティティを表す英数字のコードを入力します。一部のシステムでは、事業所と呼ばれます。
カテゴリ コード	特定のカテゴリ コードを表すコードを入力します。カテゴリ コードとは、組織要件の追跡とレポートのためにカスタマイズするユーザー定義のコードです。
会社	特定の組織、資金、その他のレポート対象を表すコードを入力します。会社コードは F0010 テーブルに登録されている必要があり、完全な貸借対照表を持つレポート対象を指定する必要があります。
通貨コード	取引の通貨を表す 3 文字のコードを入力します。JD Edwards EnterpriseOne では、国際標準化機構 (ISO) が定める通貨コードが使用されます。通貨コードは F0013 テーブルに保存されます。

伝票会社	<p>伝票に関連付けられた会社番号を入力します。この番号は、伝票番号、伝票タイプ、元帳日付と共に使用され、当初伝票を一意に識別します。</p> <p>会社と会計年度別に次の番号を割り当てる場合は、伝票会社に基づいて、該当する会社に正確な“次の番号”が割り当てられます。</p> <p>2 つ以上の当初伝票が同じ伝票番号と伝票タイプを持つ場合は、伝票会社を使用して必要な伝票を表示できます。</p>
伝票番号	<p>当初伝票を識別する番号が表示されます。当初伝票は伝票、請求書、仕訳、タイムシートなどになります。当初伝票番号は入力フォーム上で割り当てることができます。自動採番プログラムを使用して自動的に割り当てることもできます。</p>
伝票タイプ	<p>UDC テーブル 00/DT の 2 文字の UDC を入力します。このコードは、伝票、請求書、仕訳、タイムシートなどのトランザクションのソースと目的を表します。JD Edwards EnterpriseOne では、指定した伝票タイプ用に以下のプレフィックスが予約されています。</p> <p>P: 買掛金伝票 R: 売掛金伝票 T: 時間および給与伝票 I: 在庫伝票 O: 購買オーダー伝票 S: 受注オーダー伝票</p>
有効日付	<p>住所、品目、トランザクション、レコードが有効になる日付を入力します。このフィールドの意味はプログラムに応じて異なります。たとえば、有効日付は以下の日付を表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 住所の変更が有効になる日付 • 賃貸契約が有効になる日付 • 価格が有効になる日付 • 為替レートが有効になる日付 • 税率が有効になる日付
会計期間、会計年度	<p>総勘定元帳の期間と年度を表す数字を入力します。多くのプログラムでは、このフィールドを空白にして、会社名および番号プログラム (P0010) で定義した現行会計期間と年度を使用できます。</p>
元帳日付	<p>取引が転記される会計期間を表す日付を入力します。入力した取引の日付と会社に割り当てられた会計期間パターンが比較され、適切な会計期間番号と年度を取得して日付が検証されます。</p>

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理：海外赴任管理 – まえがき

この章では、以下の内容について説明します。

- 対象の PeopleSoft 製品
- PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎
- PeopleBook の構成

対象の PeopleSoft 製品

この PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の海外赴任管理について説明します。

PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎

システムの設定や設計に必要な基本情報は、この PeopleBook の姉妹編とも言える『PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook』に記載されています。このようなドキュメンテーションは PeopleSoft の製品ラインごとに用意されています。

関連項目：

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎 – まえがき」

PeopleBook の構成

PeopleSoft PeopleBook の基本的な構成内容は全ての PeopleBook で共通しています。このことを知っておくと、PeopleBook を効率よく活用できます。

PeopleBook は、処理の内容ごとに情報がまとめられた構成になっています。各章には、アプリケーションを設定または使用するために必要な処理が個別に説明されています。章内の各セクションには、その処理に含まれるタスクが説明されています。セクション内のサブセクションには、タスクに含まれるステップが説明されています。

パートに分かれている PeopleBook もあります。この場合は、1 つのパートに類似の導入プロセスまたはビジネス プロセスに関する複数の章がまとめられていたり、同じビジネス ソリューションに関係する複数の章がまとめられていたりします。PeopleBook がパートに分けられている場合は、各パートの中身が章に分けられています。

次の表で、PeopleBook に含まれる章の内容を説明します。

章	内容
まえがき	<p>現在開いているこの章です。ここでは、以下の内容について説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプリケーションの基礎 PeopleBook の使い方について • PeopleBook の構成について • この PeopleBook で使用する共通フィールド(該当フィールドがある場合)
はじめに	<p>この章では、製品導入のガイドラインを解説します。ここでは、以下の内容について説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PeopleBook で説明するビジネスプロセスについて • 他の製品との統合について • 導入プロセスの概要と、対応するドキュメンテーションについて(実際の導入手順の詳細な説明はありません)。
ナビゲーション	<p>(省略あり) PeopleSoft アプリケーションの中には、特定のビジネスプロセスやタスク、ユーザーロールなどに便利なフォルダグループをまとめたカスタム ナビゲーション ページを利用できるものがあります。カスタム ナビゲーション ページのあるアプリケーションの場合は、この章に各ページへの基本のナビゲーション情報を記載します。</p> <p>注: 全てのアプリケーションでカスタム ナビゲーション ページを利用できるわけではありません。</p>
製品について	<p>(省略あり)ここでは、製品とその機能の概要を説明します。</p>
設定と導入	<p>この説明は、複数の章にわたる場合があります。これらの章では、製品を設定、導入する手助けとなる情報を記載しています。そのため、たとえば製品のある機能の設定方法は説明していても、その使用方法は説明していない場合があります。各機能の使用方法が知りたい場合は、該当するビジネスプロセスの章を参照してください。</p> <p>注: ビジネスプロセスに関する情報が少ない場合は、ビジネスプロセスの章をあえて用意せずに、その情報をこの設定と導入に関する章に記載することもあります。</p>

章	内容
ビジネスプロセス	<p>この説明は、複数の章にわたる場合があります。通常これらの章では、個々の機能に固有のビジネスプロセスの情報を章ごとに記載しています。そのため、たとえば製品のある機能の使用方法是説明していても、その設定方法は説明していない場合があります。各機能の設定方法が知りたい場合は、該当する設定と導入の章を参照してください。</p> <p>注: 設定と導入に関する情報が少ない場合は、設定と導入の章をあえて用意せずに、その情報をこのビジネスプロセスの章に記載することもあります。</p>
付録	<p>(省略あり) 必要に応じて、PeopleBook に付録の章がいくつか添付される場合があります。付録には、メインのドキュメンテーションの補足となる情報が記載されます。</p>
標準ワークフローに関する付録	<p>(省略あり) 標準ワークフローに関する付録には、アプリケーションに標準で用意されているワークフローの全リストが記載されます。</p> <p>注: 全てのアプリケーションに標準ワークフローが用意されているわけではありません。</p>
レポートに関する付録	<p>(省略あり) 必要に応じて PeopleBook に添付されます。製品で使用されるレポートの全リストが記載されます。レポートの使用法についての詳細情報は、通常は関連のビジネスプロセスの章で説明します。</p>

第 1 章

海外赴任管理 – はじめに

この章では、海外赴任管理ビジネス プロセスの概要について説明した後、以下の各項目を解説します。

- 海外赴任管理ビジネス プロセス
- 海外赴任管理ビジネス プロセスの統合
- 海外赴任管理ビジネス プロセスの導入

海外赴任管理ビジネス プロセスの概要

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の海外赴任管理ビジネス プロセスを使用することによって、複数の国で事業展開を行う企業は、従業員が異なる国のプロジェクトに配属される際に海外赴任の割り当てを処理し、従業員のモニター、給与支給、本人および扶養家族の学歴や資格の管理などを実行することができます。

このセクションでは、海外赴任管理ビジネス プロセスの概要、および以下の各項目について説明します。

- 一時赴任/終身赴任の区分に基づく処理
- 海外へ赴任する従業員の管理

海外赴任のタイプについて

企業が複数の国で事業を展開している場合、従業員があるプロジェクトを終えて別のプロジェクトに異動するたびに、大量の従業員情報の処理が発生します。PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理を使用することによって、海外赴任する従業員に関する業務を円滑に行うことができるようになります。

次に示すタイプの従業員の一時赴任を管理できます。

- 海外駐在従業員
企業の本拠地とは異なる国や拠点に赴任している従業員です。
- 外国人従業員
企業の本拠地に他国から赴任している従業員です。
- 第三国からの従業員

自分が国籍を持つ国とは異なる国の企業に勤める従業員が、さらに異なる国に赴任する場合は、このタイプが該当します。たとえば、カナダ国籍を持ち、アメリカを本拠地とする企業に勤める従業員が、サウジ アラビアに派遣される場合などです。

一時赴任/終身赴任の区分に基づく処理

新しい赴任に関する処理を行う前に、それが一時赴任であるか終身赴任であるかを区分します。

- 一時赴任

一時赴任では、従業員は赴任の終了後、本拠地に戻ることが前提とされます。この場合、赴任が数年にわたるようなケースであっても、一時赴任と見なされます。

従業員が海外一時赴任に出発する前に、その従業員の本拠地（従業員の永続的な本拠地）を設定します。従業員情報、福利厚生、給与計算に関する主なデータは、この本拠地で管理します。さらに、新しい勤務地で従業員データを管理するためのレコードを新しく作成します。この新しい勤務地を“赴任先”と呼びます。

ここでは、2 種類の従業員データを管理することになります。1 つは本拠地のデータ、もう 1 つは新たな海外赴任先のデータです。1 人の従業員に対して 2 種類の現在データを管理する場合、新しい雇用レコード番号を作成します。これによって、既存の本国情報が上書きされることを防ぎます。

- 終身赴任

終身赴任では、赴任先が従業員の新しい本拠地になります。従業員は以前の本拠地には戻らないことが前提とされます。終身赴任の場合、従業員情報、福利厚生、給与計算に関する全てのデータを、新しい赴任先で管理します。データをそれまでの本拠地で管理する必要はなくなります。従業員が新たな勤務地へ終身赴任をする場合、[人事・労務管理] メニューの職務データ コンポーネントを使って従業員データを移行します。

参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「雇用データの追加」

海外へ赴任する従業員の管理

海外に赴任する従業員を管理するには、次の手順に従います。

1. 従業員に本国データが設定されていることを確認します。本国データとは、PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の基本的で永続的な人事管理データ（従業員 ID など）のことを指します。
2. 各赴任について、赴任先所在地、職務コード、所属部門などの赴任先データを設定します。
3. 赴任開始日と終了日、住居への対応、乗用車情報、家具の手配など、赴任に関する詳細情報を入力します。
4. 赴任する従業員に同行する扶養家族のデータを設定します。育児ヘルパーなど、家族成員ではない者も対象になります。
5. 生活費手当、教育費補助、仮の税控除、住宅手当といった、追加される支給/控除の支給方法を入力します。
6. 赴任先での勤務が終了したら、終了日を確定します。

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理には、赴任に伴って発生する業務を処理するためのページが複数用意されています。こうしたページでは次のことが可能です。

- 従業員とその扶養家族に必要とされる査証および許可証の管理
- 会社負担旅費の管理
- インターナショナル スクール/プログラムについての情報管理
- 従業員の学歴、コンピテンシー、資格、および語学力の確認

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「雇用データの追加」、「従業員、非従業員、および関係者の雇用データの追加」

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「個人情報と職務情報の更新」

海外赴任管理ビジネス プロセス

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理: 海外赴任管理には、以下のビジネス プロセスが含まれています。

- 赴任者のコンピテンシーの管理
学歴、語学力、コンピテンシーなど、赴任にあたっての赴任者のコンピテンシーを管理します。
- 赴任管理
 - 赴任データの管理
赴任者の本国/赴任先の職務情報などのほか、赴任の開始/終了日、旅費、住居、車両といった赴任に関する情報を管理します。
 - 扶養家族情報の管理
赴任者の扶養家族に関する情報を管理します。
 - 会社負担旅費の管理
赴任者とその扶養家族に対する会社負担旅費を管理します。
 - 海外赴任給与の管理
赴任により発生する従業員給与を管理します。
- インターナショナル スクール/プログラム助成金の管理
赴任者および扶養家族に対するインターナショナル スクール/プログラムの助成金を管理します。

以上のビジネス プロセスについては、この PeopleBook のビジネス プロセスの章で説明します。

関連項目:

第 3 章、「海外赴任管理の使用」、17ページ

第 4 章、「インターナショナル スクール/プログラム助成金の管理」、43ページ

海外赴任管理ビジネス プロセスの統合

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理は、全ての PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーション、それ以外の PeopleSoft Enterprise アプリケーション、およびサード パーティのアプリケーションと統合できます。

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の共有テーブルは、さまざまな PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションで使用可能です。また、PeopleSoft Enterprise アプリケーションでは、パブリッシュされたメッセージをサブスクライブする設定が行われている場合、PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の多くのテーブルのデータを利用することができます。

海外赴任管理ビジネス プロセスの導入

PeopleSoft セットアップ マネージャを使用すると、導入する機能に基づいて、実行する必要がある設定タスクのリストを生成できます。この設定タスクには、設定する必要があるコンポーネントが、テーブルにデータを入力すべき順番でリストされます。また、関連する PeopleBook ドキュメンテーションへのリンクも含まれます。

その他の情報リソース

導入プランの設定段階では、導入ガイド、テーブルへのデータ ロードの順序、データ モデル、ビジネス プロセス マップなど、PeopleSoft 内にある全ての情報を活用してください。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎 - まえがき」

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Setup Manager

第 2 章

海外赴任管理の設定

この章では、以下の内容について説明します。

- 海外赴任管理における従業員データへのデータ セキュリティの導入
- 海外赴任タイプの定義
- 会社負担旅費タイプの指定
- 海外赴任給与における支給/控除の定義
- 海外赴任管理におけるスクール情報の設定

海外赴任管理の特殊なセキュリティ オプションについて

海外に赴任する従業員には、本国および赴任先という 2 つの職務データ レコードがあります。別々の 2 つの職務データ レコードを持つ人物を管理するのは困難であるため (この 2 つのレコードは関連付けられています)、PeopleSoft HCM セキュリティには本国/赴任先のセキュリティ オプションが用意されており、ユーザーに対して既に設定したデータ権限セキュリティに適用することができます。

本国/赴任先のセキュリティ オプションを使用すると、以下の作業を行うことができます。

- 標準のデータ権限ではアクセス権が付与される職務データ レコードへのユーザーのアクセス権を制限します。

注: 本国/赴任先のセキュリティ オプションを有効にしない場合、このオプションはデフォルトで設定されています。

- 従業員の本国データへのアクセス権を持つユーザーが、赴任先データを表示できるようにします。
- 従業員の赴任先データへのアクセス権を持つユーザーが、本国データを表示できるようにします。
- 本国データへのアクセス権を持つユーザーが赴任先データを表示でき、かつ、赴任先データへのアクセス権を持つユーザーが本国データを表示できるようにします。

参照: PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「HRMS セキュリティの設定と管理」

例: 本国/赴任先のセキュリティ オプションの使い方

Jan Smit はニューヨークに拠点を置っていますが、オーストラリアのシドニーに赴任しました。Jan の所属する組織では、ビジネス ユニット フィールドを使用して個人データのセキュリティを保護しています。彼女の本国職務データ レコードは米国東部ビジネス ユニットにあり、赴任先職務データ レコードはオーストラリア ビジネス ユニットにあります。

次の表に、Jan のデータに対するアクセス権を持つユーザーを、本国/赴任先のアクセス権の設定別に示します。

注: 職務データの各ページのさまざまなフィールドを使って職務を持つ人物のデータが保護されますが、これらのフィールドのデータによる保護は職務データの各ページに限ったことなく、システム全体のさまざまなページに及びます。

本国/赴任先のアクセス権のタイプ	本国職務データに関連付けられたデータ	赴任先職務データに関連付けられたデータ
本国/赴任先のセキュリティオプションなし	東部 BU ユーザー*	オーストラリア BU ユーザー**
[本国から赴任先を表示]	東部 BU ユーザー	<ul style="list-style-type: none"> オーストラリア BU ユーザー 東部 BU ユーザー
[赴任先から本国を表示]	<ul style="list-style-type: none"> 東部 BU ユーザー オーストラリア BU ユーザー 	オーストラリア BU ユーザー
[両方] ([本国から赴任先を表示] および [赴任先から本国を表示])	<ul style="list-style-type: none"> 東部 BU ユーザー オーストラリア BU ユーザー 	<ul style="list-style-type: none"> オーストラリア BU ユーザー 東部 BU ユーザー

注: 東部 BU ユーザー: Jan の本国での管理者や米国東部の人事部門担当者など、米国東部ビジネスユニットへのアクセス権を持つユーザー。

オーストラリア BU ユーザー: Jan の赴任先での管理者やオーストラリアの人事部門担当者など、オーストラリア ビジネス ユニットへのアクセス権を持つユーザー。

本国/赴任先のセキュリティ オプションの設定

本国/赴任先のセキュリティを有効にするには、次の手順に従います。

1. セキュリティ インストール設定ページ (SCRTY_INSTALL) の [本国/赴任先のアクセスを含む] チェック ボックスをオンにして、使用する本国/赴任先のセキュリティの種類を指定します。
2. セキュリティ アクセス タイプ ページ (SCRTY_TYPE2_TBL) で、使用する本国/赴任先のセキュリティの種類を選択します。

セキュリティ アクセス タイプ レベルで本国/赴任先のセキュリティを有効にすると、1 つのセキュリティ タイプのセキュリティを使用できますが、別のセキュリティ タイプのセキュリティは使用できません。

たとえば、管理者が“職務部門ツリー”セキュリティ アクセス タイプを使用してデータ権限を持ち、人事部門担当者が“勤務地”アクセス タイプを使用してアクセス権を持つとします。本国/赴任先のセキュリティを“勤務地”アクセス タイプに対して有効にすると、人事部門担当者が赴任中の従業員の管理を継続できます。管理者に対してはセキュリティが有効にならないため、継続できるのは現在の直属部下の管理のみです。

注: 使用可能なオプションは、セキュリティ インストール設定ページで選択したオプションによって変わります。

参照: PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「HRMS セキュリティの設定と管理」、「データ権限セキュリティの導入」

海外赴任タイプの定義

海外赴任タイプを設定するには、赴任タイプ テーブル (ASSGN_TYPE_TABLE) コンポーネントを使用します。

このセクションでは、新規赴任タイプの作成方法について説明します。

海外赴任タイプの定義に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
赴任タイプ	ASSGN_TYPE_TABLE	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任タイプテーブル]	新規赴任タイプを作成するために使用します。

新規赴任タイプの作成

赴任タイプ ページにアクセスします。

赴任タイプ ページ

(GER) ドイツ用赴任タイプの定義

ドイツで使用する赴任タイプを設定する際は、以下のオプションから選択します。

タイプ	説明
A01	本国内赴任
A02	本国外赴任 DBA 非課税
A03	本国外赴任 DBA 課税
A04	本国外赴任 ATE 非課税

タイプ	説明
A05	本国外赴任 ATE 課税
D01	本国内出張
D02	本国外出張
D03	集団赴任 DBA 課税

会社負担旅費タイプの指定

会社負担旅費のタイプを設定するには、旅費タイプ テーブル (TRAVEL_TYPE_TABLE) コンポーネントを使用します。

このセクションでは、会社負担旅費タイプの指定方法について説明します。

会社負担旅費タイプの指定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
旅費タイプ	TRAVEL_TYPE_TABLE	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[旅費タイプテーブル]	会社負担旅費のタイプを指定します。このページで設定したコードは、会社負担旅費ページで従業員とその扶養家族の旅行手続きを処理する際に使用されます。

会社負担旅費タイプの指定

旅費タイプ ページにアクセスします。

旅費タイプ ページ

[有効日]

この旅費タイプが有効になる日付を指定します。

[ステータス]

旅費タイプのステータスを指定します。[アクティブ] または [非アクティブ] のいずれかを選択します。

[旅費タイプ名称]	定義する旅費タイプの内容を表す名称を入力します。
[帰省休暇]	従業員が本国（本拠地）に帰省するための休暇をとる場合に使用します。 帰省休暇を選択すると、会社負担旅費ページでこの旅費タイプを指定した場合に「旅行先」セクション内のフィールドが自動的に無効になります。

海外赴任給与における支給/控除の定義

海外赴任給与の支給/控除を設定するには、支給（EARNINGS_TABLE1）および 控除（DEDUCTION_TABLE1）コンポーネントを使用します。

このセクションでは、海外赴任給与における支給/控除の概要と、以下の内容について説明します。

- 控除コードと分類情報の追加に使用します。
- 税措置の定義
- 支給コードの追加

海外赴任給与における支給/控除について

海外に赴任する従業員には、通常、生活費手当や遠隔地赴任手当などの補助が適用されます。一方、給与に対し、見込み税額として追加の控除が適用される場合もあります。

支給/控除は、本国データおよび赴任先データと関連付けて指定されます。例としては、生活費手当が赴任先の給与として支給され、遠隔地赴任手当が本国から支給される、といったケースなどがあります。各コンポーネントの設定では複数の通貨単位が使用でき、相当する本国通貨が自動的に計算されます。

補足支給/控除に関して、継続的に何度も適用される場合と一度のみの適用である場合とを区別するには、各従業員の支給方法タイプ別に給与データを管理します。支給方法タイプには、海外赴任給与と一時金の 2 つがあります。この 2 つで海外赴任に関連するほとんどの給与が処理できます。

PeopleSoft Enterprise Payroll for North America を使用していない場合、海外赴任給与を管理するには、支給/控除コンポーネントで控除情報、税情報、および支給情報を定義します。

情報の定義後、海外赴任給与コンポーネントを使用して、海外赴任給与の管理が可能になります。

参照: [第 2 章、「海外赴任管理の設定」、「控除コードと分類情報の追加」、10ページ](#)

注: Payroll for North America を使用している場合は、Payroll for North America の支給テーブル/控除テーブル（[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[Payroll for North America] の順に選択してアクセスします）によって、支給/控除を設定します。海外赴任管理のテーブルには、給与計算のテーブルの代用として使えるほど十分な情報がありません。

全ての更新が必ず [Payroll for North America] メニューのコンポーネントによって行われるようにするため、[海外赴任管理] メニューのテーブルは表示専用を設定してください。

関連項目:

[第 2 章、「海外赴任管理の設定」、「控除コードと分類情報の追加」、10ページ](#)

[第 3 章、「海外赴任管理の使用」、「海外赴任給与と為替変動の管理」、39ページ](#)

海外赴任給与における支給/控除の定義に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
控除	DEDUCTION_TABLE1	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[控除コード]	控除コードと分類情報の追加に使用します。
控除 2	DEDUCTION_TABLE2	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[控除コード]、[控除 2]	海外赴任の控除に対応する税措置を定義するために使用します。
支給	EARNINGS_TABLE1	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[支給コード]	海外赴任用の支給コードを追加するために使用します。

控除コードと分類情報の追加

控除ページにアクセスします。

控除

プラン タイプ: 00 一般控除 控除コード: B00-03

控除情報

*有効日: 2007/04/01

*名称: Travel Advance

略称: Travel Adv

控除優先度: 125

特別処理:

延滞回収額の上限

☒ 限度額なし

☐ 固定回収限度額

☐ 係数×控除額

控除サブセット

*サブセット ID	名称

控除ページ

海外赴任の控除コードとして、[プラン タイプ] には 00 (一般控除) を指定します。

警告: [有効日]、[名称]、および [略称] 以外のフィールドには情報を入力しないでください。それ以外のフィールドに情報を入力すると、ここで定義したコードをほかの赴任用ページで入力した際に、給与計算用のコードとして処理が行われることになります。さらに、[Payroll for North America] または [給与計算インターフェイス] メニューに属するテーブルのいずれかのページに設定されていない必須フィールドがある場合には、エラー メッセージが表示されます (エラーの内容は使用している給与計算システムによって異なります)。

税措置の定義

控除 2 ページにアクセスします。

控除 2

プランタイプ: 00 一般控除

控除コード: B00-03 Travel Advance

控除情報 検索 最初 1/1 最後

有効日: 2007/04/01

税クラス 検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

控除クラス

- ☒ 税引後
- ☐ 税引前
- ☐ 非課税福利厚生
- ☐ 非課税税引前福利厚生
- ☐ 課税対象福利厚生
- ☐ ケベック課税対象福利厚生

カナダ売上税

- ☒ なし
- ☐ 物品・サービス税
- ☐ 調整売上税
- ☐ 州売上税
- ☐ 州売上税保険
- ☐ 州保険料税

特別累計 検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

*累計コード:

*特別残高への影響: 加算

控除 2 ページ

[控除クラス] 控除タイプを選択します。

[カナダ売上税] カナダで使用するタイプを選択します。

支給コードの追加

支給ページにアクセスします。

支給	
支給コード:	AUT
<div> <div>支給情報</div> <div> <div>検索</div> <div>最初 1/1 最後</div> </div> </div>	
*有効日:	2007/04/01
*ステータス:	アクティブ
*名称:	Automobile Allowance
略称:	Auto Allow
*資格従業員タイプ:	全て
<div>支給タイプ*</div> <div> <input type="radio"/> 時間または金額 <input type="radio"/> 時間と金額 <input type="radio"/> 時間のみ <input checked="" type="radio"/> 金額のみ <input type="radio"/> 単位/上書きレート <input type="radio"/> 固定額 </div>	<div>FLSA への影響</div> <div> <input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> 時間と金額 <input type="radio"/> 時間のみ <input type="radio"/> 金額のみ </div> <div> <div>遡及支払</div> <div> <input type="checkbox"/> 遡及支払可 <input type="checkbox"/> 遡及支払に使用 </div> </div>
<input type="checkbox"/> 勤務時間の配分	

支給ページ

警告: [有効日]、[名称]、および [略称] 以外のフィールドには情報を入力しないでください。それ以外のフィールドに情報を入力すると、ここで定義したコードをほかの赴任用ページで入力した際に、給与計算用のコードとして処理が行われることになります。さらに、[Payroll for North America] または [給与計算インターフェイス] メニューに属するテーブルのいずれかのページに設定されていない必須フィールドがある場合には、エラー メッセージが表示されます (エラーの内容は使用している給与計算システムによって異なります)。

海外赴任管理におけるスクール情報の設定

スクール情報を新たに設定する場合は、専攻 (MAJOR_TABLE)、スクール/プログラム テーブル (INTL_SCHPGM_TABLE)、スクール/プログラム連絡先テーブル (INTL_CONTACT_TABLE) の各コンポーネントを使用します。

このセクションでは、海外赴任管理におけるスクール情報の概要と、以下の内容について説明します。

- スクールおよびオリエンテーション プログラムの情報の入力
- スクールおよびプログラムの連絡先情報の管理

海外赴任管理におけるスクール情報について

海外に赴任する従業員に対して、子供の学校や大人の語学クラス/オリエンテーション クラスのための費用を企業が補助する場合があります。PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理を使用することによって、どの従業員が教育補助対象であるかが判断しやすくなると共に、各種教育機関についての情報を管理できるようになります。

企業が従業員や扶養家族の教育費手当を支給する場合は、従業員および扶養家族が利用できるスクールやプログラムに関する情報を設定します。

専攻の設定

海外赴任用に新しい専攻を設定する必要がある場合は、専攻テーブル ページを使用します。

参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: プロファイル管理、「プロファイル管理」

海外赴任管理におけるスクール情報の設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
スクール/プログラム	INTL_SCHPGM_TABLE	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[スクール情報設定]、[スクール/プログラム テーブル]	スクールおよびプログラムの情報を入力するために使用します。
プログラム連絡先	INTL_CONTACT_TABLE	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[スクール情報設定]、[スクール/プログラム連絡先テーブル]	スクールおよびプログラムの連絡先情報を管理します。 注: 事前にスクール/プログラム ページでインターナショナルスクールおよびプログラムの情報を設定しておく必要があります。
専攻テーブル	MAJOR_TABLE	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[スクール情報設定]、[専攻]	学位や資格に最も関連性のある専門分野を指定します。

スクールおよびオリエンテーション プログラムの情報の入力

スクール/プログラム ページにアクセスします。

スクール/プログラム ページ

【社内/社外】 スクール/プログラムが、【社内】、【社外】のどちらに該当するかを指定します。

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「国別機能の設定」

プログラム連絡先ページにアクセスします。

プログラム連絡先

スクール/プログラム コード: K00003 The British Council Schl Spain

プログラム連絡先テーブル詳細 検索 | 全件表示 最初 ◀ 1/1 ▶ 最後

*担当者番号: + -

*名前:

肩書:

連絡先タイプ:

連絡先電話番号 検索 | 全件表示 最初 ◀ 1/1 ▶ 最後

電話番号タイプ	電話番号	+ -
<input type="text" value="代表"/>	<input type="text" value="331235843"/>	+ -

プログラム連絡先ページ

[担当者番号]

スクールまたはプログラム担当者の番号を入力します。たとえば、1 番目の担当者としてスクールの校長を指定し、2 番目の担当者として副校長を指定する、といったように使用します。

[連絡先電話番号]

担当者の電話番号タイプを指定して、電話番号を入力します。新しいデータ行を追加して、担当者ごとに複数の連絡先電話番号を設定できます。

第 3 章

海外赴任管理の使用

この章では、海外赴任管理の概要を述べ、次の手順について解説します。

- チェックリストの作成
- 従業員の本国/赴任先データの管理
- 本国/赴任先データが複数存在する場合の赴任管理
- 従業員の赴任データの管理
- 海外赴任従業員に関する会社負担旅費の管理
- 海外赴任従業員の扶養家族情報の管理
- 海外赴任給与と為替変動の管理

海外赴任管理について

従業員を海外に配属する際は、新しい赴任情報の詳細、補足支給や補足控除、およびさまざまな福利厚生パッケージを管理します。また、住宅、乗用車、家具など、従業員の生活面についても管理することができます。PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理によって、従業員とその扶養家族の赴任先への移転手続きを行うことができます。

注: 海外赴任処理を行う場合、PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理システム内に、人事レコードおよび従業員 ID が登録されている必要があります。

チェックリストの作成

チェックリストを設定するには、チェックリスト アイテム (CHKLST_ITEM_TBL) および チェックリスト (CHECKLIST_TABLE) コンポーネントを使用します。

このセクションでは、チェックリスト作成の概要を述べ、作成時に使用するページをリストします。

チェックリストの作成について

赴任タイプや赴任先が異なっても、処理する情報の大半は共通しています。作業時間を節約し、かつデータ入力エラーや入力漏れを防ぐため、標準チェックリストを作成して海外赴任に関する処理を効率化します。特殊な状況を処理する場合は、標準チェックリストを基に修正を行ってチェックリストを作成します。

チェックリストの設定には、チェックリスト アイテム テーブル ページおよびチェックリスト テーブル ページを使用します。従業員に応じてチェックリストをカスタマイズする場合は、個人チェックリスト ページを使用します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「人事・労務管理のビジネス プロセスの設定」、「チェックリストの作成」

チェックリスト作成に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
チェックリストアイテム	CHKLST_ITEM_TABLE	[HRMS 基本設定]、[共通定義]、[チェックリスト]、[チェックリストアイテム]	チェックリストで使用するアイテムを定義します。
チェックリストテーブル	CHECKLIST_TABLE	[HRMS 基本設定]、[共通定義]、[チェックリスト]、[チェックリスト]	従業員のチェックリストを定義します。
従業員チェックリスト	EMPLOYEE_CHECKLIST	[人事・労務管理]、[個人情報]、[雇用情報]、[異動チェックリスト]	従業員を処理する基準となるチェックリストアイテムを設定します。
個人チェックリスト	PERSON_CHECKLIST	[人事・労務管理]、[個人情報]、[雇用情報]、[異動チェックリスト]	従業員を処理する基準となるチェックリストアイテムを設定します。

従業員の本国/赴任先データの管理

このセクションでは、以下の手順について説明します。

- 本国情報の定義および管理
- 赴任先情報の定義および管理
- 赴任者のコンピテンシーの定義
- 赴任の開始
- 赴任の終了
- 従業員の終身異動
- 赴任先の追加
- 本国/赴任先データの表示および更新
- 本国/赴任先の給与計算データの追加および表示
- 本国/赴任先の赴任データの追加および表示
- 本国/赴任先の福利厚生データの追加および表示

従業員の本国/赴任先データの管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
赴任先の追加	PER_ORG_INST_ASGN	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[赴任先の追加]	赴任先の追加や、従業員の本国/赴任先サマリの表示に使用します。
本国/赴任先データ	HOME_HOST_DATA	<ul style="list-style-type: none"> [人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[赴任先の追加] <p>[赴任先の作成] ボタンをクリックして本国/赴任先データコンポーネントにアクセスし、本国/赴任先データページを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[本国/赴任先データ]、[本国/赴任先データ] 	<p>本国データの表示、および赴任先データの表示と更新に使用します。</p> <p>注: 本国データは、従業員データの各ページから取得されます。該当の従業員に関する従業員情報を事前に作成しておく必要があります。</p> <p>注: 赴任を管理するには赴任データコンポーネントで赴任先の雇用レコードを設定する必要があります。</p>
給与計算データ	JOB_DATA_2	<ul style="list-style-type: none"> [人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[赴任先の追加] <p>[赴任先の作成] ボタンをクリックして本国/赴任先データコンポーネントにアクセスし、給与計算データページを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[本国/赴任先データ]、[給与計算データ] 	<p>本国/赴任先の給与計算データの追加や表示に使用します。本国データは、従業員データの各ページから取得されます。該当の従業員に関する従業員情報を事前に作成しておく必要があります。</p>
赴任	HOME_HOST_ASGN	<ul style="list-style-type: none"> [人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[赴任先の追加] <p>[赴任先の作成] ボタンをクリックして本国/赴任先データコンポーネントにアクセスし、赴任ページを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[本国/赴任先データ]、[赴任] 	<p>赴任先の赴任データの追加や表示に使用します。該当の従業員に関する従業員情報を事前に作成しておく必要があります。</p> <p>注: このページは、従業員が現在赴任中で、赴任先の雇用レコード番号を使用してアクセスした場合にのみ、本国/赴任先データコンポーネントに表示されます。</p>
海外赴任詳細	ASGN_VLD_VW	<p>[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[赴任先の追加]、[赴任]</p> <p>赴任ページで[既存の赴任データを選択]リンクをクリックします。</p>	<p>現在の赴任先を選択した赴任に関連付けるために使用します。</p>

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
福利厚生プログラム	JOB_DATA_BENPRG	<ul style="list-style-type: none"> ・ [人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[赴任先の追加] [赴任先の作成] ボタンをクリックして本国/赴任先データコンポーネントにアクセスし、福利厚生プログラム ページを選択します。 ・ [人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[本国/赴任先データ]、[福利厚生プログラム] 	本国/赴任先の福利厚生データの追加や表示に使用します。本国データは、従業員データの各ページから取得されます。該当の従業員に関する従業員情報を事前に作成しておく必要があります。
勤務地	JOB_DATA1	[人事・労務管理]、[職務情報]、[職務データ]、[勤務地]	個人の職務のポジションと所在地に関する情報を更新します。

本国情報の定義および管理

従業員の海外赴任を管理する場合、最初に、職務データ コンポーネント (JOB_DATA) で本国 (従業員の永続的な本拠地) および本国データを設定します。本国とは、一時赴任が終了した場合に従業員が戻る拠点のことです。また、本国データとは、赴任していない状況での従業員の職務データのことです。

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理に従業員の情報を追加すると、その従業員に関する職務データ レコードが作成され、本国情報として処理されます。新規に雇用された従業員に対しては、赴任の処理を行う前に従業員情報を作成しておく必要があります。

注: 従業員が本国で複数の職務を兼任している場合は、複数の本国レコードが作成されることになります。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「雇用データの追加」、「従業員、非従業員、および関係者の雇用データの追加」

赴任先情報の定義および管理

従業員の一時赴任では、各赴任先へ配属が行われる都度、赴任先データと福利厚生データのセットを新たに作成する必要があります。赴任先データとは、職務、部門、勤務地などに関する情報です。福利厚生データとは、赴任先での従業員の福利厚生プログラムへの加入に関する情報です。赴任ごとにデータのセットを個別に作成することで、従業員の永続的な本国データ/福利厚生データはそのまま保持しながら、現在の赴任に関するデータを管理できます。

新規赴任の赴任先データを追加する場合は、最初に赴任先の追加コンポーネント (ADD_HOST_ASSIGN) を使用して職務レコードを新規作成します。

赴任先の職務レコードを作成したら、本国/赴任先データ ページのフィールドで職務情報を設定します。従業員の赴任先情報を管理、確認し、職務レコードを赴任に割り当てるには、本国/赴任先データ コンポーネント (HOME_HOST_DATA) を使用します。新しい赴任先情報を保存すると、雇用、職務、福利厚生プログラム加入に関する各テーブルにデータが自動的に保存されます。これらのテーブルには、基本的な職務データが全て保存されます。

この海外赴任が終了した場合も、次の赴任で同一の雇用レコードを再利用して、赴任に関する新規データ行を追加することができます。

注: 通常は従業員 1 名に対して赴任先の雇用レコードを 1 つ使用し、該当の従業員の海外赴任全てを管理します。ただし、赴任の兼務が行われたり特定の赴任に対して複数の福利厚生が適用される場合などの特殊な状況においては、例外的な対応が必要となります。このような場合は、雇用レコード番号を追加してデータを個別に管理します。

赴任者のコンピテンシーの定義

海外赴任に最も適任とされる従業員を判別するには、従業員の個人プロフィールを確認します。個人プロフィールを使用して従業員の学歴と技能を記録し、赴任中に学習する教育内容と技能についての情報を追跡することができます。

個人プロフィール コンポーネント (JPM_PERSON_PROFILE) には、[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任者コンピテンシー] の順に選択してアクセスします。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: プロファイル管理、「プロファイル管理」

赴任の開始

従業員の赴任を開始するには、以下の作業を行います。

- 赴任先の職務レコードが存在しない場合は、作成します。

注: 全ての赴任に対して同一の職務レコードを使用し、赴任ごとに新規データ行を追加します。

参照: [第 3 章、「海外赴任管理の使用」、「赴任先情報の定義および管理」、20ページ](#)

- [異動区分] コードには [赴任] (ASG) が自動的に選択されます。該当する [異動理由] コードを選択します。
- 今回の赴任に関する赴任先情報を入力します。

赴任の終了

赴任を終了するには、本国/赴任先データ ページでデータ行を挿入し、[異動区分] フィールドで [赴任終了] (ASC) を選択します。

赴任の終了は、従業員が直ちに次の赴任先へ配属されることはない、という状況においてのみ実行します。

従業員の次の赴任先への配属が直に行われる場合は、その赴任に関する新規データ行を入力します。

従業員の終身異動

一時赴任中の従業員が、1 拠点に永続的に配属される場合があります。その従業員は、終身従業員として現地の従業員と同様の処遇を受けるようになるため、一時赴任として管理することはできなくなります。赴任先が従業員の新しい本拠地となり、雇用、福利厚生、給与計算に関する全データをその赴任先で管理します。

従業員を終身異動するには、次の手順に従います。

1. 全ての一時海外赴任を終了させます。
2. 勤務地ページにアクセスして行を挿入し、終身異動先での部門、勤務地、職務コードを入力します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「個人情報と職務情報の更新」、「職務データの更新」

赴任先の追加

赴任先の追加ページにアクセスします。

Patrick Seto

個人 ID: KU0011

赴任先の追加

雇用データ

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

雇用形態: 従業員

組織コード: 0

HR ステータス: アクティブ

給与計算ステータス: アクティブ

有効日: 1980/01/02

ビジネス ユニット: US001 GBI BU for US001

部門: 13000 Finance

会社コード: GBI Global Business Institute 9999

採用日: 1980/01/02

赴任先の作成

次の雇用コード: 1

配属データ

カスタマイズ | 検索

最初 1/1 最後

雇用コード番号	HR ステータス	有効日	ビジネス ユニット	部門	本国/赴任先
0	アクティブ	1980/01/02	US001	13000	本国

赴任先の追加ページ

[赴任先の作成]

クリックすると本国/赴任先データ ページにアクセスします。このページで赴任先を作成します。複数の雇用データを持つ従業員の場合、赴任先を作成する雇用データに対応する [赴任先の作成] ボタンをクリックします。

注: 通常は、従業員の全ての赴任先に対して、同じ職務データレコードを使用します。必要な場合を除き、赴任先レコードを追加で作成しないでください。代わりに、従業員の既存の赴任先レコードに行を追加してください。

[次の雇用レコード]

赴任先レコードを新たに作成した場合、この雇用レコード番号を使用して識別されます。

[リフレッシュ]

クリックすると、[配属データ] 表がリフレッシュされ、新しい赴任先が表示されます。[リフレッシュ] ボタンは、新しい赴任先が作成された場合に表示されます。

[配属データ]

現在の赴任先が全て表示されます。

[雇用記録番号]

従業員が複数の赴任を兼任している場合、各職務のデータを管理するために複数の雇用記録番号が作成されます。新規に採用された従業員の場合、最初の職務に対して雇用記録番号が 0 に設定されます。その後、後続の職務に対して連番による雇用記録番号が割り当てられています。

[本国/赴任先]

従業員が複数の赴任を兼任している場合、画面には条件に応じて次のように異なった情報が表示されます。

- ・ 赴任が従業員の本拠地において指示されたものである場合は、本国の情報が表示されます。
- ・ 赴任が従業員の本拠地以外において指示されたものである場合は、赴任先の情報が表示されます。

本国/赴任先データの表示および更新

本国/赴任先データ ページにアクセスします。

本国/赴任先データ		給与計算データ		赴任		福利厚生プログラム	
Patrick Seto		EMP		ID: KU0011		雇用記録番号: 1	
本国雇用データ 組織コード: 0 採用日: 1980/01/02 退職日:							
本国/赴任先データ 検索 全件表示 最初 1/1 最後							
*有効日:	2007/04/01	HR ステータス:	アクティブ	給与計算ステータス:	アクティブ	入力日:	2007/04/01
*異動区分:	赴任	異動理由:		*雇用コード:	副雇用		
ポジション番号:		ポジションデータの上書き		<input type="checkbox"/> ポジション管理コード			
*法定区域:	USA						
*ビジネス ユニット:	GBIBU	Global Business Institute BU					
会社コード:	GBI	Global Business Institute 9999					
*部門:	10500	Benefits					
所在地コード:	KUNY00	Corporation Headquarters アメリカ					
*職務コード:	120000	Administrator					
監督者:	KUZ009	Eduardo Campos					
直属上司*ポジション:							
標準勤務時間							
標準勤務時間:	40.00	総標準勤務時間/常勤換算:		80.00 / 2.000000			
勤務周期:	W	週次	指定日:	2007/04/01			
常勤換算:	1.000000						

本国/赴任先データ ページ

赴任先を作成し、赴任先における従業員の職務情報を入力するには、赴任先の追加コンポーネントを使用してこのページにアクセスします。既存の赴任先に対して赴任データの追加や変更を行うには、本国/赴任先データ コンポーネントを使用して、従業員の赴任先の雇用記録番号を選択し、このページにアクセスします。

従業員の本国の雇用記録番号を使用してこのコンポーネントにアクセスした場合、ページ フィールドが表示専用となります。各フィールドには、従業員の職務記録から取得されたデータが表示されます。従業員の本国の雇用記録番号を使用してこのコンポーネントにアクセスした場合、[赴任] タブは表示されません。

ページの各フィールドは、職務データ コンポーネントで表示されるものと同じです。

[入力日] 入力時点での日付が表示されます。

[異動区分] 海外赴任をそれ以外の人事異動と区別するための区分を指定します。新規赴任の場合、異動区分として [赴任] が自動的に選択されます。赴任が終了したとき、新規行を追加すると、[赴任終了] が自動的に選択されます。

参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「人事・労務管理のビジネス プロセスの設定」

[異動理由] 従業員を赴任先に配属する特定の理由を指定することもできます。例としては、技術移転のための赴任や赴任先での技術者の不足といった理由があります。赴任タイプの管理をより簡単に行うには、各タイプに異動理由を指定します。

海外赴任に固有の理由を設定する場合は、異動理由テーブルを使用します。

参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「人事・労務管理のビジネス プロセスの設定」

本国/赴任先の給与計算データの追加および表示

給与計算データ ページにアクセスします。

給与計算データ ページ

ページ内の各フィールドは、職務データ コンポーネントで表示されるものと同じです。

[給与計算システム] 赴任先で使用される給与計算システムを入力します。入力しても、従業員の本国データには影響しません。

給与計算データ ページ、または [人事・労務管理] メニューの給与計算ページは、変更することができます。

[納税地コード] 赴任先の納税地コードを選択します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「雇用データの追加」、「給与計算データの入力」

本国/赴任先の赴任データの追加および表示

赴任ページにアクセスします。

The screenshot displays the 'Assignment' page in PeopleSoft. At the top, there are tabs for '本国/赴任先データ' (Home/Assignment Data), '給与計算データ' (Payroll Data), '赴任' (Assignment), and '福利厚生プログラム' (Benefits Program). The employee's name 'Patrick Seto' and EMP ID 'KU0011' are shown. Below this, the '本国雇用データ' (Home Employment Data) section shows '組織コード' (Organization Code) as 0 and '採用日' (Hire Date) as 1980/01/02. The '赴任先データ' (Assignment Data) section shows '有効日' (Effective Date) as 2007/04/01, 'HR ステータス' (HR Status) as 'アクティブ' (Active), and '異動区分' (Transfer Category) as '赴任' (Assignment). The '海外赴任詳細' (Overseas Assignment Details) section contains several fields: '新規の赴任開始日' (New Assignment Start Date) set to 2007/07/01, '*終了日' (End Date) set to 2008/06/01, '*赴任タイプ' (Assignment Type) set to '本国外出向赴任' (Overseas Outward Assignment), '本国出発日' (Home Departure Date), '赴任先到着日' (Assignment Arrival Date), '*国' (Country) set to 'USA', '市' (City) set to 'Paia', and '都道府県/州' (Prefecture/State) set to 'ハワイ' (Hawaii). There are also fields for 'エンタ ID' (Entry ID) and 'コメント' (Comments).

赴任ページ

このページは、新規赴任先を作成する場合、または既存の赴任先が存在し、赴任先の雇用レコード番号を使用して本国/赴任先データ コンポーネントにアクセスした場合のみ表示されます。

ページ内の各フィールドは、職務データ コンポーネントで表示されるものと同じです。

[新規の赴任開始日] 赴任の開始日を選択します。日付を選択すると、次のフィールドがページに表示されます。

[既存の赴任開始日] このフィールドは、既存の赴任先が存在する場合に表示されます。修正モードでは、日付を選択し直して赴任日を変更したり、赴任先に関連付ける赴任を変更したりできます。

[既存の赴任データを選択] このリンクは、修正モードで表示されます。このリンクをクリックして海外赴任詳細ページ (ASGN_VLD_VW) にアクセスし、既存の赴任を選択します。

現在の赴任先が、選択した赴任に関連付けられます。赴任日は、最大 2 つの赴任先に関連付けることができます。

[終了日]

赴任の終了日を入力します。

[赴任タイプ]

赴任タイプ テーブルに登録されている値の中から赴任タイプを指定します。

[本国出発日]、[赴任先
到着日]

従業員が本国を出発する予定日、および赴任先に到着する予定日を入力または変更します。

[国]

赴任先の国を選択します。

本国/赴任先の福利厚生データの追加および表示

福利厚生プログラム ページにアクセスします。

本国/赴任先データ	給与計算データ	赴任	福利厚生プログラム
Patrick Seto	EMP	ID: KU0011	雇用コード番号: 2
福利厚生コード番号: <input type="text" value="0"/>			
福利厚生ステータス 検索 最初 1/1 最後			
有効日: 2007/06/18	同一有効日連番: 0	行に移動	
異動区分: 赴任	異動理由:		
*福利厚生システム: <input type="text" value="福利厚生管理"/>	福利厚生従業員ステータス: アクティブ		
福利厚生費算定基礎 (年額): <input type="text" value=""/>	USD		
福利厚生管理資格			
福利厚生グループ ID: <input type="text" value="B01"/>			
資格フィールド 1: <input type="text" value=""/>	資格フィールド 2: <input type="text" value=""/>	資格フィールド 3: <input type="text" value=""/>	
資格フィールド 4: <input type="text" value=""/>	資格フィールド 5: <input type="text" value=""/>	資格フィールド 6: <input type="text" value=""/>	
資格フィールド 7: <input type="text" value=""/>	資格フィールド 8: <input type="text" value=""/>	資格フィールド 9: <input type="text" value=""/>	
福利厚生プログラム加入 検索 全件表示 最初 1/1 最後			
*有効日: <input type="text" value="1980/01/02"/>	*福利厚生プログラム: <input type="text" value="KU1"/> GBI Master US Benefit Program	通貨コード: USD	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>

福利厚生プログラム ページ

ページ内の各フィールドは、職務データ コンポーネントで表示されるものと同じです。

[福利厚生システム]

福利厚生プログラムを入力します。入力しても、従業員の他の本国データには影響しません。

福利厚生プログラム ページ、または [人事・労務管理] メニューから選択する福利厚生プログラム ページは、変更することができます。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「雇用データの追加」、「福利厚生プログラム加入の指定」

本国/赴任先データレコードが複数存在する場合の赴任管理

このセクションでは、以下の手順について説明します。

- 従業員が本国で複数の職務を兼任している場合の赴任データの追加
- 従業員が赴任を複数兼任している場合の赴任データの追加
- 複数の本国/赴任先データと赴任との関連付け

従業員が本国で複数の職務を兼任している場合の赴任データの追加

海外赴任管理では、多くの場合、従業員は本国の職務レコードと赴任先の職務レコードをそれぞれ 1 つずつ保有しています。ただし、場合によっては、従業員が本国で複数の職務を兼任していたり、複数の赴任先に配属されることがあります。

海外に赴任する時点で、既に複数の雇用レコードが作成されている従業員もいます。たとえば、アメリカの大学教授がイギリスのオックスフォード大学で 1 年間教鞭を執るというケースについて考えてみます。彼はアメリカにおいて既に教授と研究者という 2 つの職務を兼任しています。このような場合は、本国用に 2 つの雇用レコードが存在するため、赴任先用には 3 つ目の雇用レコードを作成する必要があります。

複数の本国レコードを保有する従業員の赴任先データを管理するには、次の手順に従います。

1. 赴任先の追加コンポーネント (ADD_HOST_ASSIGN) で、新規赴任先の雇用レコードを作成します。
赴任先の追加ページで、赴任先を作成する本国レコードの雇用データの [赴任先の作成] ボタンをクリックします。
異なる職務を識別するため、システムによって新たな雇用レコードが追加されます。
2. 給与計算データ ページに給与計算情報を入力します。
3. 赴任ページに赴任の日付を入力します。
赴任の終了日を入力すると、その日付以前の有効日を持つ他の赴任先レコードがシステムに登録されているかどうかを検証されます。
4. 福利厚生プログラム ページに福利厚生データを入力します。
5. [OK] をクリックして入力内容を保存します。

従業員が赴任を複数兼任する場合の赴任データの追加

従業員が特定の赴任期間中に複数の赴任先で職務を遂行する場合があります。たとえば、日本に配属されたマネージャが韓国での職務も兼任するといったケースです。このような配属は、事前に決定されている場合も、最初の職務に配属された後に決定される場合もありますが、いずれの状況においても、各職務は兼任している別々の赴任先レコードとして処理されます。

複数の赴任先レコードを割り当てる従業員のデータを管理するには、次の手順に従います。

1. 赴任先の追加コンポーネントで、赴任先ごとに雇用レコードを作成します。
赴任先に対して、次の雇用レコード番号 (2、3 など) が自動的に割り当てられます。
2. 本国/赴任先データ、赴任、給与計算データ、福利厚生プログラムの各ページに、赴任データおよびその他の詳細を入力します。
3. [OK] をクリックして入力内容を保存します。

複数の本国/赴任先データと単一の赴任との関連付け

赴任を関連付けることができる本国レコードは 1 つのみです。従業員が (1 つの雇用データ内に) 複数の本国レコードを保有している場合、赴任先レコードは最初の本国レコードに関連付けられます。

従業員が複数の赴任レコードを保有している場合は、全ての赴任先レコードを赴任に関連付けます。赴任は、赴任開始日によって特定されます。赴任ページおよび赴任データ ページに入力する情報によって、海外赴任給与ページ内の本国/赴任先のデータに使用される支給および控除が制御されます。

本国/赴任先レコードを赴任に関連付けるには、次の手順に従います。

1. 赴任先の追加ページにアクセスします。
2. 赴任先の追加ページで、赴任先を作成する本国レコードの [赴任先の作成] ボタンをクリックします。
3. 給与計算データ ページに給与計算情報を入力します。
4. 赴任ページに赴任の日付を入力します。
5. 福利厚生プログラム ページに福利厚生情報を入力します。
6. [OK] をクリックして入力内容を保存します。

複数の赴任先レコードを赴任に関連付けるには、次の手順に従います。

1. 赴任に関連付ける赴任先の雇用レコード番号を使用して、赴任ページにアクセスします。
2. [履歴の修正] ボタンをクリックします。
3. [既存の赴任データを選択] リンクをクリックします。海外赴任詳細ページが表示されます。
4. 赴任先に関連付ける赴任のチェック ボックスをオンにします。

追加の赴任ページに情報が表示されない場合は、赴任の終了日より後に有効となる赴任先レコードの雇用レコード番号が選択されています。赴任先の職務情報の有効日を更新するか、または赴任の終了日を変更してください。

5. 設定を保存します。

従業員の赴任データの管理

このセクションでは、以下の手順について説明します。

- 赴任に関する基本データの入力
- 本国/赴任先情報の表示
- 本国の住居および家具に関する情報の入力
- 赴任先の住居および家具に関する情報の入力
- 本国/赴任先の乗用車情報の管理

注: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理には、社有車に関する福利厚生を管理するための PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理-社有車管理も用意されています。

従業員の赴任データを管理するには、赴任データ コンポーネント (ASSIGNMENT_DATA) を使用します。

従業員の赴任データの管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
赴任データ	ASSIGNMENT_DATA	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[赴任データ]、[赴任データ]	赴任タイプに関する情報を入力および表示するために使用します。
本国/赴任先	ASSIGNMENT_HOMHST	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[赴任データ]、[本国/赴任先]	本国/赴任先情報を表示するために使用します。
本国の住居	RESIDENCE_HOME	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[赴任データ]、[本国の住居]	本国の住居および家具に関する情報を入力するために使用します。
赴任先の住居	RESIDENCE_HOST	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[赴任データ]、[赴任先の住居]	赴任先の住居および家具に関する情報を入力するために使用します。
乗用車	VEHICLE_DATA	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[赴任データ]、[乗用車]	乗用車の所在とステータスを管理するために使用します。
雇用情報サマリ	PERSON_SUMMARY	<ul style="list-style-type: none"> • [人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[雇用情報サマリ]、[雇用情報サマリ] • [人事・労務管理]、[個人情報]、[雇用情報サマリ]、[雇用情報サマリ] 	個人の雇用情報のサマリを確認します。
赴任サマリ	ASSGNMT_SUMMARY	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[赴任サマリ確認]	従業員の赴任に関する概要を確認するために使用します。
海外赴任従業員リスト	RUNCTL_PER717	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[海外赴任従業員リストレポート]	海外赴任中の従業員のリストを表示する、海外赴任従業員リストレポート (PER717) を実行します。

赴任に関する基本データの入力

赴任データ ページにアクセスします。

赴任データ	本国/赴任先	本国の住居	赴任先の住居	乗用車
Yves Chabot		個人 ID: KF0018		
<div> <div>赴任データ</div> <div> <div>検索 全件表示</div> <div>最初 1/1 最後</div> </div> </div>				
<div> <div>*開始日:</div> <div>1989/11/01</div> <div>*終了日:</div> <div>1993/09/16</div> </div>				
<div> <div>*赴任タイプ:</div> <div>FLA</div> <div>本国外出向赴任</div> </div>				
<div> <div>本国出発日:</div> <div></div> <div>赴任先到着日:</div> <div></div> </div>				
<div> <div>本国住所</div> <div> <div>*国:</div> <div>FRA</div> <div>フランス</div> </div> <div> <div>県:</div> <div>92</div> <div>オートド・セーヌ</div> </div> <div> <div>市:</div> <div>Levallois</div> </div> </div>				
<div> <div>赴任先連絡先</div> <div> <div>連絡先:</div> <div></div> </div> </div>				
<div> <div>コメント</div> <div></div> </div>				

赴任データ ページ

[開始日]、[終了日] 赴任の開始日および終了日を、必要に応じて変更します。

[赴任タイプ] 赴任の値を、必要に応じて変更します。

[本国出発日]、[赴任先到着日] 従業員が本国を出発する予定日、および赴任先に到着する予定日を入力または変更します。

[本国住所]

従業員の本国住所に関する情報が表示されます。

本国住所の情報には、従業員の個人データに保存されている値がデフォルトとして使用されます。この情報は、帰省休暇の処理を行う場合に会社負担旅費ページで使用されます。

[赴任先連絡先]

本国の監督者が緊急の場合に従業員に連絡をとるための、赴任先における連絡先を入力します。従業員の氏名および電話番号が使用されます。

本国/赴任先情報の入力

本国/赴任先ページにアクセスします。

赴任データ	本国/赴任先	本国の住居	赴任先の住居	乗用車
Yves Chabot		個人 ID:		KF0018
本国/赴任先 検索 全件表示 最初 1/1 最後				
赴任タイプ:	本国外	開始日:	1989/11/01	終了日: 1993/09/16
データ指定日				
<input checked="" type="radio"/> 赴任開始日 <input type="radio"/> 赴任終了日 <input type="radio"/> 現在の日付				
本国				
雇用コード番号:	0	HR ステータス:	アクティブ	最新開始日: 1983/06/12 終了日:
会社コード:	KF1	Business I		
ビジネス ユニット:	FRA01	France Business Unit		
部門:	13000	Operations- Paris		
職務コード:	790000	Sales Manager		
ホスジョン番号:				
所在地コード:	KFPA01	Paris	国:	フランス 通貨: FRF
役職:				
赴任先データ 検索 全件表示 最初 1/1 最後				
雇用コード番号	1	HR ステータス:	アクティブ	最新開始日: 1989/11/01 終了日:
会社コード:	KG1	BIUK		
ビジネス ユニット:	GBR02	Sales and Marketing - UK		
部門:	21300	Sales and Marketing - Scotland		
職務コード:	770045	Representative-Sales		
ホスジョン番号:				
所在地コード:	KG02	Edinburgh - Scotland	国:	イギリス 通貨: GBP
役職:				

本国/赴任先ページ

[データ指定日]

日付のオプションを変更し、本国/赴任先データの表示内容を切り替えます。以下の値から選択します。

- [赴任開始日]
赴任開始時点での本国/赴任先データを表示する場合に選択します。
 - [赴任終了日]
赴任終了時点での本国/赴任先データを表示する場合に選択します。
 - [現在の日付]
処理当日の時点での本国/赴任先データを表示する場合に選択します。
- ページ内のその他のフィールドには、本国/赴任先データ コンポーネントで関連付けが行われたデータが、選択された日付のオプションに基づいて自動的に表示されます。

[本国]、[赴任先データ]

選択した日付に応じた本国/赴任先および職務データが表示されます。

本国の住居および家具に関する情報の入力

“本国の住居” ページにアクセスします。

The screenshot shows the '本国の住居' (Domestic Residence) page. At the top, there are tabs for '赴任データ', '本国/赴任先', '本国の住居', '赴任先の住居', and '乗用車'. The '本国の住居' tab is active. Below the tabs, there is a header bar with '本国の住居' and navigation links like '検索', '全件表示', '最初', '1/1', and '最後'. The main content area shows a list of residence records for 'Yves Chabot' with personal ID 'KF0018'. The first record has a residence number of '1'. Below the list, there is a detailed form for the selected residence, including fields for '有効日' (Valid Date) set to 1989/11/06, '赴任前ステータス' (Pre-Assignment Status) set to '賃貸' (Rental), '赴任中ステータス' (Assignment Status) set to '該当なし' (None), and '本国の家具' (Domestic Furniture) set to '該当なし' (None). There is also a checkbox for '所有財産管理会社使用' (Use of Asset Management Company) which is unchecked. A comment field is also present.

“本国の住居” ページ

[住居番号]

デフォルトでは 1 が表示されます。

異なる基準によって番号を割り当てる必要がない場合は、この値をそのまま使用します。新規データ行を挿入して住居を追加すると、2、3 という具合に次の番号が自動的に割り当てられます。

[赴任前ステータス]、[赴任中ステータス]

従業員の赴任前および赴任中の住居ステータスを選択します。

[本国の家具]

従業員の本国の住居に関する家具の処理について指定します。

[所有財産管理会社使用]

会社が住居の諸手続きを行う際に管理会社を利用する場合は、チェックボックスをオンにします。

赴任先の住居および家具に関する情報の入力

“赴任先の住居” ページにアクセスします。

“赴任先の住居” ページ

[住居番号]

デフォルトでは 1 が表示されます。異なる基準によって番号を割り当てる必要がない場合は、この値をそのまま使用します。新規データ行を挿入して住居を追加すると、2、3 という具合に次の番号が自動的に割り当てられます。

[赴任先の住所編集]

リンクをクリックすると、赴任先の住所を編集できます。

[赴任先住居ステータス]

赴任先の住居ステータスを選択します。

[赴任先の家具]

赴任先の住居に関する家具の処理について指定します。本国の住居に対する有効値のセットとは異なる有効値のセットを使用します。有効値は、トランスレート テーブルに保存されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「雇用データの追加」

本国/赴任先の乗用車情報の管理

乗用車ページにアクセスします。

赴任データ

本国/赴任先

本国の住居

赴任先の住居

乗用車

Yves Chabot

個人 ID:

KF0018

車両情報

検索 | 全件表示

最初

1/1

最後

開始日:

1989/11/01

終了日:

1993/09/16

タイプ:

本国外

本国車両

検索 | 全件表示

最初

1/1

最後

*車両番号:

1

名称:

+ -

車両についてのコメント

検索 | 全件表示

最初

1/1

最後

*有効日:

2007/04/01

31

*理由:

+ -

コメント:

赴任先車両

検索 | 全件表示

最初

1/1

最後

*車両番号:

1

名称:

+ -

車両情報

検索 | 全件表示

最初

1/1

最後

*有効日:

2007/04/01

31

*理由:

+ -

*車両ステータス:

使用可能日:

31

☐ 現金支給

コメント:

乗用車ページ

[本国車両]

- [車両番号]

デフォルトでは 1 が表示されます。異なる基準によって番号を割り当てる必要がない場合は、この値をそのまま使用します。新規データ行を挿入して車両を追加すると、2、3 という具合に次の番号が自動的に割り当てられます。
- [理由]

従業員の車両の理由（ステータス）を指定します。

[赴任先車両]

- [車両番号]

デフォルトでは 1 が表示されます。異なる基準によって番号を割り当てる必要がない場合は、この値をそのまま使用します。新規データ行を挿入して車両を追加すると、2、3 という具合に次の番号が自動的に割り当てられます。
- [理由]

ステータスの理由を指定します。
- [車両ステータス]

本国の車両に対する有効値のセットとは異なる有効値のセットを使用して、車両のステータスを選択します。有効値は、トランスレート テーブルにも保存されています。
- [使用可能日]

従業員が車両を利用できるようになる日付を入力します。
- [現金支給]

従業員が車両支給ではなく現金支給を選択している場合は、このチェックボックスをオンにします。

海外赴任従業員に関する会社負担旅費の管理

このセクションでは、海外赴任従業員に関する会社負担旅費の管理方法について説明します。

海外赴任従業員の会社負担旅費の管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
会社負担旅費	TRAVEL_CMPNY_PAID	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[会社負担旅費]	会社負担旅費についての情報を入力するために使用します。
旅費 - 扶養家族	TRAVEL_CMPNY_DEP	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[扶養家族の会社負担旅費]	会社負担の対象となる従業員扶養家族の旅費を管理するために使用します。

海外赴任従業員に関する会社負担旅費の管理

会社負担旅費ページにアクセスします。

会社負担旅費

Florence Gautier
個人 ID: KF0025

会社負担旅費詳細

*資格取得日: 2007/04/01

赴任タイプ: 本国外

*旅費タイプ:

金額/通貨: USD

出発地

国: USA

都道府県/州:

市:

旅行開始日:

開始日: 1983/11/01 終了日: 1987/12/31

*交通手段: 飛行機

☐ 現金支給 ☐ 本国住所以外

到着地

国: USA

都道府県/州:

市:

*扶養家族

名前	姓	生年月日	婚姻区分

会社負担旅費ページ

注: フィールドにデータが表示されない場合は、その従業員の旅費に対し会社負担の適用が開始される日付が、[赴任データ] で入力した現在の赴任の終了日より後の日付になっています。該当の赴任中、今回の旅費に限って会社負担を適用する場合は、このページの [資格取得日] または赴任データ ページの [終了日] のいずれかで変更を行います。

[資格取得日]

従業員の旅費について会社負担の適用が開始される日付が表示されます。入力を行っている当日の日付が自動的に表示されますが、この値は変更できます。

[旅行開始日]

旅行の開始日を入力します。

[旅費タイプ]

旅費タイプ テーブルに登録された値の中から 1 つを指定します。

[交通手段]	トランスレート テーブルに登録された値の中から 1 つを指定します。[飛行機] がデフォルトで表示されますが、この値は変更できます。
[金額/通貨]	実際のチケット代金、または会社が支給する旅費の上限を入力します。“インストール テーブル” の HRMS オプション ページで指定された通貨がデフォルトで表示されますが、この値は変更できます。有効値は、通貨コード テーブルに保存されています。
[現金支給]	従業員が会社側支払いではなく現金支給を希望している場合は、[現金支給] チェック ボックスをオンにします。
[本国住所以外]	従業員が本国住所以外の拠点への旅行を指定している場合は、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオンにすると、[旅行先] グループ ボックスに異なる旅行先を入力できるようになります。
	注: このチェック ボックスは、旅費タイプ テーブルで [帰省休暇] チェック ボックスをオンにした場合にのみ使用できます。[旅行先] グループ ボックスには、赴任データ ページの従業員の本国住所情報が表示されます。
[国]	従業員が出発する国を指定します。 [出発地点] または [旅行先] のいずれかのグループ ボックスで国コードを変更すると、[都道府県/州] フィールドと [市区町村] フィールドの情報はクリアされ、新しい情報を入力できます。 会社負担旅費に関する情報を追加する場合は、新しいデータ行を挿入します。
[扶養家族]	該当する扶養家族の ID を入力します。扶養家族を追加するには、[扶養家族] フィールドにカーソルを移動して、追加ボタンをクリックします。
[生年月日]	扶養家族の生年月日が表示されます。

海外赴任従業員の扶養家族情報の管理

このセクションでは、以下の手順について説明します。

- 扶養家族データの入力
- 赴任に同行する家族データの入力および管理
- 扶養家族データの表示

海外赴任従業員の扶養家族情報の管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
帯同家族	FAMILY_AT_HOST	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[帯同家族]、[帯同家族]	親族と扶養家族に関するデータを設定するために使用します。
家族情報	IMMEDIATE_FAMILY	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[家族情報確認]、[家族情報]	従業員の家族情報を表示するために使用します。
扶養家族データ-氏名	DEPEND_BENEF1	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[扶養家族データ]、[氏名]	扶養家族/受益者名を追加または編集するために使用します。
扶養家族データ-住所	DEPEND_BENEF_ADDR	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[扶養家族データ]、[住所]	扶養家族/受益者の住所を追加または編集するために使用します。
扶養家族データ-個人プロフィール	DEPEND_BENEF2	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[扶養家族データ]、[個人プロフィール]	扶養家族/受益者の個人情報を追加または編集するために使用します。

扶養家族データの入力

扶養家族に関する情報を入力し、管理するには、扶養家族データ コンポーネント ([人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[扶養家族データ] の順にクリックしてアクセスします) を使用します。

参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「人事レコードへの追加情報の入力」、「扶養家族と受益者データの追跡管理」

赴任に同行する家族データの入力および管理

帯同家族ページにアクセスします。

帯同家族

Florence Gautier

個人 ID: KFO025

帯同家族

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*有効日:

31

+ -

赴任タイプ:

本国外

開始日:

1983/11/01

終了日:

1987/12/31

家族数

家族数:

0

帯同家族:

0

合計帯同数:

0

赴任先扶養家族

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*扶養家族 ID

生年月日

婚姻区分

帯同

職業

+ -

帯同家族ページ

- [赴任タイプ]、[開始日]、[終了日]

指定された有効日に基づいて、赴任のタイプおよび赴任の開始日/終了日が表示されます。

フィールドにデータが表示されない場合、入力した情報は、赴任データコンポーネントで設定された終了日を過ぎた後に有効になります。データを表示するには、このページで有効日を変更するか、または赴任データコンポーネントの終了日を変更します。
- [家族数]

家族の構成員数が表示されます。ここで“家族”とは、従業員の配偶者および子を意味します。
- [扶養家族 ID]

扶養家族データの各ページを使用して追加された扶養家族全員の情報が表示されます。
- [帯同]

赴任先へ同行する扶養家族の数を示すチェック ボックスです。家族の構成員は自動的に選択されます。赴任先へ同行しない家族に対しては、[帯同] チェック ボックスをオフにします。

育児ヘルパーといった家族の構成員以外の者が従業員に同行する場合は、[帯同] チェック ボックスをオンにします。

帯同についての情報を変更すると、帯同家族数と合計帯同数が自動的に更新され表示されます。合計帯同数には、家族以外の赴任同行者も含まれます。

赴任先の扶養家族の追加

帯同家族ページに新しい扶養家族を追加するには、まず扶養家族/受益者ページを使って扶養家族を追加します。[有効日] フィールドにカーソルを移動します。変更の有効日を入力し、フィールドから移動すると、扶養家族の一覧がリフレッシュされます。

赴任先の扶養家族の削除

常同家族ページにアクセスします。赴任先の扶養家族の人数が減る場合は、削除ボタンをクリックして変更を保存します。ここで削除された扶養家族は、赴任先扶養家族の一覧からは除外されますが、その従業員の扶養家族/受益者としては引き続きシステム内で管理されます。

扶養家族データの表示

家族情報ページにアクセスします。

家族情報

Ted Baer

個人 ID: KUL401

扶養家族/受益者データ

検索 | 全件表示

最初1-3/3最後

扶養家族氏名	生年月日	出生地	続柄	婚姻区分	職業
Thomas Baer	1981/10/12		息子	独身	
Benjamin Baer	1983/10/12		息子	独身	
Tamara Baer	1990/01/06		娘	独身	

家族情報ページ

ページの上部に従業員の氏名および ID が表示されます。その下に、該当する従業員が扶養している全ての家族成員に関して、氏名、出生情報、従業員との続柄、職業（該当する場合）、婚姻区分の各データが表示されます。

海外赴任給与と為替変動の管理

このセクションでは、海外赴任給与の管理方法について説明します。

警告: 海外赴任給与ページは、Payroll for North America の給与計算処理とはリンクされていません。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「通貨の設定と使い方」

海外赴任給与と為替変動の管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
海外赴任給与	ASSGNMT_EARNS_DED	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[赴任管理]、[海外赴任給与]	本国から支給される遠隔地手当や引越し費用、赴任先から支給される住宅手当や賃貸料といった、補足支給/補足控除を設定します。

海外赴任給与の管理

海外赴任給与ページにアクセスします。

海外赴任給与

Florence Gautier
従業員 ID: KF0025
支給方法タイプ: 一時金

海外赴任給与

*有効日: 1983/11/01
*給与支給周期: A
年次

赴任タイプ: 本国外
開始日: 1983/11/01
終了日: 1987/12/31

統額合計 (本国通貨): 35387.00

本国/赴任先

*本国/赴任先: 0
本国

*換算元通貨コード: FRF
*換算先通貨コード: FRF

*為替レート: 1.00000000
*レートタイプ: OFFIC

統額 (本国/赴任先): 35387.00

支給

*コード: AWA
Award -- Cash

本国の金額: 35387.00
赴任先の金額:

控除

*コード:

本国の金額:
赴任先の金額:

海外赴任給与ページ

[給与支給周期]

周期テーブルの値を使用して給与支給周期を選択します。値には、[年次]、[時間毎]、[月次] があります。支給および控除の双方で指定する全ての金額は、このフィールドで選択した支給周期によって処理されます。

[赴任タイプ]

ページ内で指定された有効日に基づく赴任タイプが表示されます。データが表示されない場合、入力した情報は、赴任データコンポーネントで設定された終了日を過ぎた後に有効になります。警告メッセージが表示されます。

赴任の終了日より後に一時金を支給するというケースでは、このメッセージは無視してかまいません。それ以外のケースでは、このページで有効日

を変更するか、または赴任データ コンポーネントで終了日を変更することにより、赴任データを表示します。

[本国/赴任先]

本国レコードまたは赴任先レコードに対応する従業員の雇用レコード番号を入力します。通常、本国の雇用レコードには 0、赴任先の雇用レコードには 1 を使用します。

[換算元通貨コード]、[換算先通貨コード]

赴任データが登録されている場合、[換算元通貨コード] フィールドには従業員の本国データで指定されている国の通貨が表示されます。[換算先通貨コード] フィールドには、本国の通貨が表示されます。これらのフィールドのデータは自動的にロードされます。これらのデフォルト値を変更する場合は、通貨コード テーブルから変更したい通貨コードを選択することによって値を上書きします。

[為替レート]

為替レート タイプが表示されます。デフォルトでは、インストール テーブルに指定したレートが表示されます。

[レート タイプ]

レート タイプが表示されます。デフォルトでは、インストール テーブルに指定したレート タイプが表示されます。このデフォルト値は上書きできます。

[コード]

本国からの補足支給を表すコードを入力します。コードの登録は、支給テーブルで行います。

[基本支給]

本国での従業員に対する支給額が表示されます。この値は職務データ コンポーネントの [給与データ] で指定します。

[本国の金額]

本国の金額を入力します。本国データに関する情報の入力中であるため、[赴任先の金額] の入力フィールドは表示されません。

[基本支給]

本国での従業員に対する支給額が表示されます。この値は、職務データ - 給与計算ページで指定します。

[コード]

控除テーブルからコードを指定し、本国で指定した従業員の給与に対して適用する控除を設定します。

[本国の金額]

指定した控除コードに対し、本国の金額を入力します。

本国で指定した純支給額と純控除額が表示されます。[純額 (本国/赴任先)] フィールドには、本国と赴任先の両方における補足支給/控除の純額が表示されます。どちらの金額も本国通貨で表示されます。

本国データに関する情報の入力中であるため、[赴任先の金額] の入力フィールドは表示されません。

第 4 章

インターナショナル スクール/プログラム助成金の管理

この章では、インターナショナル スクール/プログラムの助成金の管理方法について説明します。

海外に赴任する従業員に対して、子供の学校や大人の語学クラス/オリエンテーション クラスのための費用を企業が補助する場合があります。PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理を使用することによって、従業員への教育面での助成に対する判断が合理化されると共に、各種教育機関についての情報を管理できるようになります。

インターナショナル スクール/プログラムの助成金の管理

このセクションでは、インターナショナル スクール/プログラムの助成金に関するデータの管理方法について説明します。

従業員および扶養家族のインターナショナル スクール/プログラムの助成金を管理するには、インターナショナル スクール/プログラム コンポーネントのスクール/プログラム ページとスクール - 扶養家族ページを使用します。

助成金データの管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
スクール/プログラム	INTL_SCHOOL_PROGRM	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[インターナショナル スクール]、[インターナショナル スクール/プログラム]	支払いに関する情報を入力するために使用します。
スクール - 扶養家族	INTL_SCHOOL_DEP	[人事・労務管理]、[海外赴任管理]、[インターナショナル スクール]、[扶養家族のインターナショナル スクール]	開始日と終了日を登録し、指定された通貨で学費補助金の支払いスケジュールを設定するために使用します。

助成金データの管理

スクール/プログラム ページにアクセスします。

スクール/プログラム ページ

スクール/プログラムのコードを入力します。このフィールドを入力すると、スクール/プログラム タイプの値と、その学校が社内 (I) か社外 (E) かの区分が表示されます。この情報はインターナショナル スクール/プログラム テーブルで作成します。

従業員がスクールに出席する、またはプログラムに参加する期間を指定します。

一括払いの場合のみ、このフィールドに合計額を入力します。支払スケジュールを設定する場合は、このフィールドは空白にしておきます。支払スケジュールを作成すると、金額が自動的に計算され、[予定支払額の合計]に金額が表示されます。

通貨には、“インストール テーブル” の HRMS オプション ページで指定された基本通貨がデフォルトで使用されますが、これは変更可能です。通貨コードは、通貨コード テーブルに保存されています。

支払スケジュールを設定する場合に、支払周期を入力します。有効値は、トランスレート テーブルに保存されています。

支払スケジュールを入力すると、合計額が自動的に計算され表示されます。このページに入力した情報を保存すると、システムによって、該当金額が「**予定支払額の合計**」として設定されます。

支払処理を追加するには、[支払スケジュール] グループ ボックス内の追加ボタンをクリックします。

各支払いでの支払予定期日を入力します。

各支払いでの支払額の合計を入力します。

会社側が負担する金額を入力します。

[従業員負担額]	従業員側が負担する金額が表示されます。支払額合計と事業主負担額が異なる場合、[事業主負担額] フィールドに金額を入力すると、従業員負担額が自動的に計算され表示されます。
[支払済]	スクール/プログラムの取扱機関への合計金額の支払いが完了した場合、このチェック ボックスをオンにします。
[払戻ステータス]	各支払いについて、組織の払い戻し規定に対応するステータスを個別に指定します。このステータスは、従業員への払い戻しが終了した時点で [未払戻] から [払戻済] に変更します。従業員への払い戻しを行わない場合は、ステータスを [払戻不要] に設定します。

PeopleSoft Enterprise 用語一覧

EIM 元帳	Enterprise Incentive Management 元帳の略。PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者のスコープ内の増分結果を処理するオブジェクトのことです。元帳には、データオリジンと、元になった処理ステップに対する全ての適切な追跡を含んだ結果セットがキャプチャされます。
GDS	“Global Distribution System (グローバル販売システム)” の略です。旅行計画を作成するためのコンピュータ予約システム全般を示す広義的な用語です。
GL ビジネス ユニット/GL ユニット	一般会計ビジネスユニットのことです。会計処理上、独立している組織内のエンティティを指します。GL ユニットごとに固有の会計帳簿が管理されます。 ビジネス ユニットの説明も参照してください。
KPI	“Key Performance Indicator (主要業績評価指標)” の略です。組織の重要成功要因の達成度を測るための、上位レベルの尺度です。KPIにより、評価の基準となるデータ値や計算方法が定義されます。
KVI	“Known Value Item (価格や価値が消費者によく知られている商品)” の略です。販売価格を上げたり下げたりすることができない製品または製品グループに使用する用語です。
LDIF ファイル	“LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) Data Interchange Format (LDAP データ交換フォーマット) ファイル” の略です。このファイルには、PeopleSoft Enterprise のデータとディレクトリ データとの差異が記録されます。
MCF サーバー	PeopleSoft MultiChannel Framework (マルチチャネルフレームワーク) サーバーの略です。ユニバーサル キュー サーバーと MCF ログ サーバーで構成されます。どちらのプロセスも、アプリケーション サーバードメイン設定で MCF サーバーが選択されたときに開始されます。
NDP	“Non-Discountable Products (割引対象外の製品)” の略です。販売価格を下げるできない製品または製品グループに使用する用語です。
PeopleCode	PeopleSoft Enterprise コンポーネントプロセッサによって実行される固有の言語です。PeopleCode は、既存のデータやユーザーのアクションに基づいて結果を生成します。PeopleTools で提供されるさまざまなツールを使用すると、PeopleCode を実行可能な全ての PeopleSoft Enterprise アプリケーションで外部サービスが利用できるようになります。
PeopleCode イベント	“イベント” の説明を参照してください。
PeopleSoft ピュア インターネット アーキテクチャ (PIA)	リレーショナル データベース管理システム (RDBMS)、アプリケーション サーバー、Web サーバー、およびブラウザで構成される、PeopleSoft 8 の基本アーキテクチャです。
REN サーバー	PeopleSoft マルチチャネルフレームワークの Real-time Event Notification サーバーの略です。
RFI イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、情報の依頼を指します。
RFx イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、入札者間の競争が少なく、複数の入札者が予算内の最高金額で入札した場合に行われる提案依頼または見積イベントの依頼を指します。
SCP SCBM XML メッセージ	SCP = サプライチェーン プランニング、SCBM = サプライチェーン ビジネス モデラを意味しています。サプライチェーン ビジネス モデラでは、データのインポートおよびエクスポートは、全て XML の形式で行われます。

XLink (XML リンク)	XMLドキュメントに、リソース間のリンクを記述するためのリンク言語です。
XML スキーマ	アプリケーション メッセージ、コンポーネント インターフェイス、またはビジネス インターリンクの表示を統一する XML 定義です。
XPI	eXtended Process Integrator の略です。PeopleSoft XPI は、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションとのリアルタイムおよびバッチでの連携を可能にする統合インフラストラクチャです。
アイテム	<p>PeopleSoft Enterprise 在庫管理では、ビジネス ユニットに保管されている(または倉庫から出荷される)物品を指します。</p> <p>PeopleSoft Enterprise 需要計画、在庫ポリシー計画、および供給管理では、計画の目的のみで使用する非在庫アイテムを指します。非在庫アイテムを使用して、在庫アイテムのファミリまたはグループを表すことができます。計画部品表や計画工程手順を設定することができ、計画部品表の構成部品として使用することもできます。計画アイテムは、生産用または設計用の部品表や工程手順に指定することはできず、生産の構成部品として使用することもできません。手持数量は管理されません。</p> <p>PeopleSoft Enterprise 売掛金管理では、個々の売掛金を指します。たとえば、請求書、貸方メモ、借方メモ、償却、または調整などがアイテムに該当します。</p>
アクション テンプレート	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、顧客やアイテムが、アクションプランの特定の状態にどのくらいの期間とどまっていたかに基づいて、システムまたはユーザーによって段階的に実行されるアクションの概要を定義します。
アクティビティ	<p>PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、登録可能なカタログ アイテム (クラス) のインスタンスを指します。このアクティビティによって、提供物に関連する費用、登録の制限と期限、および登録待ち人数の定員などが定義されます。</p> <p>PeopleSoft Enterprise パフォーマンス マネジメントでは、アクティビティベース マネジメントでコスト計算に使用される、組織の業務と一連のアクションを指します。</p> <p>PeopleSoft Enterprise プロジェクトコスト管理では、プロジェクトをさらに細かく(通常は各タスクに)分類するための業務単位を指します。</p> <p>PeopleSoft ワークフローでは、ビジネス プロセス内で実行する必要がある各トランザクションを指します。アクティビティは、トランザクションを実行するための各ステップで構成されるため、ステップ マップとも呼ばれます。</p>
アプリケーション メッセージング	PeopleSoft Enterprise 製品ファミリのアプリケーションと、他の PeopleSoft Enterprise 製品またはサードパーティのアプリケーションとを同期または非同期の形式で連携させることができる機能です。アプリケーション メッセージには、パブリッシュ/サブスクライブの対象となるレコードとフィールドが定義されます。
異動理由	従業員の職務または雇用情報が更新された理由です。異動理由は、人事異動(昇進、雇用終了、支給グループの変更など)と、その理由という2つの部分から成ります。異動理由は、PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理、PeopleSoft Enterprise Benefits Administration、PeopleSoft Enterprise Stock Administration、および基本福利厚生管理ビジネスプロセスの COBRA 管理機能によって使用されます。
イベント	<p>コンポーネントプロセッサフローまたはプログラムフロー内にあらかじめ定義されたポイントです。各ポイントに達すると、イベントによって各コンポーネントがアクティブ化され、そのコンポーネントとイベントに関連付けられている PeopleCode プログラムが開始されます。イベントの例としては、FieldChange、SavePreChange、および RowDelete などがあります。</p> <p>また、PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理では、福利厚生の給付条件に影響する出来事を指します。</p>
イベント継承プロセス	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、元の PeopleSoft Enterprise Incentive Management イベントの継承を(ロジックを通じて)決定し、他

	<p>のオブジェクトによって処理される元のイベントのデリバティブを作成するプロセスのことです。PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、このメカニズムを使用して分割やロールアップなどが実装されます。イベント継承により、貸方金額をだれが受け取るかが決定します。</p>
イベント制約	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、特定のソーシングイベントに関連付けられる制約を指します。選択したイベント内で支出が追跡されます。</p>
依頼者	<p>PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、商品またはサービスを依頼し、発注書を参照するさまざまな購買ページに ID が表示されている担当者を指します。</p>
インテグレーション	<p>システム間の連携を可能にする 2 つのインテグレーション ポイント間の関係です。インテグレーションによって、PeopleSoft Enterprise アプリケーションは、他の PeopleSoft Enterprise アプリケーションやサードパーティのシステム/ソフトウェアとシームレスに連携することができます。</p>
インテグレーション セット	<p>同じ目的で使用するインテグレーションの論理グループです。たとえば、インテグレーション セット ADVANCED SHIPPING ORDER には、注文に対する出荷を顧客に通知するために使用される全てのインテグレーションが含まれます。</p>
インテグレーション ポイント	<p>他の PeopleSoft Enterprise アプリケーションや外部アプリケーションとの連携に使用されるインターフェイスです。</p>
ウェアハウス	<p>定義済み ETL マップ、データウェアハウスツール、およびデータマート定義で構成された PeopleSoft Enterprise データウェアハウスです。</p>
売掛金担当者	<p>PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売上調整と未解決アイテムを追跡および解決する担当者のことを指します。</p>
オークション イベント	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、最適な価格またはスコアを達成するために、入札者間で積極的な競争が行われるソーシングイベントを指します。</p>
会計処理クラス	<p>PeopleSoft Enterprise パフォーマンス マネジメントにおいて、一般に認められている会計原則 (GAAP) で、リソースがどのように取り扱われるかを定義します。在庫クラスは、リソースが貸借対照表勘定科目に含まれるかどうか (在庫や固定資産など) を示し、非在庫クラスは、リソースが発生した期間の費用として処理されることを示します。</p>
会計処理日	<p>取引が実際に発生した日ではなく、取引が認識された日付を示します。会計処理日と取引日は同じである場合もあります。会計処理日により、取引の転記先の総勘定元帳における会計期間が決まります。選択できる会計処理日は、転記先の元帳のオープン期間内の日付に限られます。通常、アイテムの会計処理日は請求日になります。</p>
会計分割	<p>会計分割メソッドは、1 つまたは複数の会計チャートフィールドセットに、支出がどのように割り当てまたは分割されるかを示します。</p>
回収ルール	<p>PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、未決済残高の金額と期限からの経過日数に基づき、顧客に対して実行するアクションを定義するユーザー定義のルールのことを指します。</p>
価格コンポーネント	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、全体の入札価格を構成する材料費、人件費、出荷費用などの各種コンポーネントを指します。</p>
価格設定	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、落札数量に基づいて入札者が行う値引きまたは金額の上乗せを指します。</p>
価格リスト	<p>価格リストを使用して、製品および取引の際に適用される条件を選択できます。取引の際は、その取引に定義されている検索階層に基づいて製品の価格が自動的に決定されるか、または製品に関連付けられたアクティブな価格リ</p>

	ストの最低価格が使用されます。この価格は、以後の全ての割引や割増に対する基準として使用されます。
価格ルール	基本価格に調整が適用されるための条件です。それぞれの条件が満たされれば、複数のルールが適用される場合もあります。
価格ルール キー	価格ルールに対して価格ルール条件(取引のマッチングに使用)を定義するために利用可能なフィールドを定義します。
価格ルール条件	価格設定フィールドとその値を選択し、価格設定フィールドが取引にどのように適用されるかを決定する演算子を選択します。
学習者グループ	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、同じラーニング環境にリンクされた学習者のグループを指します。同じ学習者グループのメンバーは、部門や職務コードなど、同じ属性を共有します。学習者グループを使用して、ラーニング アクティビティやプログラムへのアクセスや登録を制御することができます。また、バックオフィスでグループ登録や一括登録を実行するためにも使用されます。
学習予定	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者ごとに計画されている全てのラーニング アクティビティおよびプログラムを格納するセルフサービスリポジトリです。
学習履歴	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者が完了した全てのラーニング アクティビティやプログラムを記録するセルフサービスリポジトリです。
カタログ アイテム	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者が学習および追跡できるトピックを指します。たとえば、“Microsoft Word について”などがこれに該当します。カタログ アイテムには、トピックについての一般的な情報に加え、コースコード、説明、カテゴリ分類、キーワード、および提供方法が含まれています。1つのカタログ アイテムには、1つまたは複数のラーニング アクティビティが含まれます。
カタログ パートナ	PeopleSoft Enterprise カatalog 管理において、カタログ コンテンツの管理責任を企業のカatalog 管理者と共有します。
カタログ マップ	PeopleSoft Enterprise カatalog 管理において、カタログのソース データから会社仕様のカタログに値を変換するために使用されます。
各国機能	PeopleSoft Enterprise HRMS において、国ごとに利用できる情報セットを指します。この情報にアクセスするには、グローバル ウィンドウで目的の国のフラグをクリックするか、または特定の国向けのメニューからアクセスします。
カテゴリ分類	パートナからのオファーをカタログのオファーに関連付け、それらを会社のカタログ カテゴリにグループ化します。
仮受消費税記録フラグ	“仮払消費税記録フラグ”の説明を参照してください。
仮払消費税記録フラグ	PeopleSoft Enterprise 購買管理、買掛金管理、および一般会計では、このフラグは取引に仮払消費税が記録されることを示します。このフラグは、仮受消費税記録フラグと併せて、取引に対して作成される会計入力と、消費税申告書での取引の申告方法を決定するために使用されます。購買管理と買掛金管理では、取引の消費税情報が追跡されるので、このフラグは必ず“記録する”に設定します。常に仮受消費税だけが記録される PeopleSoft Enterprise 受注管理、請求管理、売掛金管理と、常に仮払消費税だけが記録される PeopleSoft Enterprise 経費管理では、このフラグは使用されません。
関係オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、これらのオブジェクトは給与オブジェクトとビジネス オブジェクトの間の関連性を設定することによって、取引を解決するための給与構造を詳細に定義します。
関係者	ワークフォースの一員ではないものの、組織が情報を管理する対象となる個人を指します。

換算先通貨	予算表示や照会のために、入力通貨から換算する単一の通貨です。
期間コンテキスト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者は通常複数の期間に同じ給与プランを使用するので、期間コンテキストによってプランのコンテキストが特定のカレンダー期間と会計年度に関連付けられます。期間コンテキストは、関連するプランコンテキストを参照してチェーンを形成します。各プランコンテキストには対応する期間コンテキストのセットがあります。
基本期間	PeopleSoft Enterprise ビジネス プランニングにおいて、カレンダー内の最も基本的な期間を指します。
キャッシュドロア	現金を収納して支払をその場で行うための引出しです。
休暇取得	受給者が、有給休暇を認められるために満たす必要のある条件を定義するエレメントです。
休暇付与	病欠、休養、産休など、有効と認められる休暇について、有給休暇を承認するためのルールを定義するエレメントです。休暇付与エレメントにより、承認可能な金額、頻度、および期間が定義されます。
給与オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与構造内のノードを指します。給与オブジェクトは、給与構造の階層を構成する基本単位です。
給与構造	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与オブジェクトの階層関係のことです。これは、オブジェクト間の給与関連の関係を表します。
行	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、入札できる個々のアイテムまたはサービスを指します。
業績指標	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、奨励プランの適用範囲内でデータを格納するために使用される変数を指します(アグリゲータと似ていますが、あらかじめ定義されている計算式はありません)。業績指標は、プランのカレンダー、地域、および参加者に関連付けられます。業績指標は割当額の計算やレポートに使用されます。
共通アローワンス	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、制限付きで資金供給された企業レベルでのプロモーションを指します。業界一般では、これはコーポレートプロモーションやコーポレートディスカウントなどと呼ばれます。
共通ナビゲーション ヘッダー	全ての PeopleSoft Enterprise ポータルには、ナビゲーション ヘッダーが含まれます。これは、ユーザーがそのポータルにサインインしている限り、全てのページで上部に表示されます。ナビゲーション ヘッダーには、標準のナビゲーション ボタン(ホーム、お気に入り、サインオフなど)に加え、各ユーザーへのメッセージなども表示できます。
共有ドライバ計算式	PeopleSoft Enterprise ビジネス プランニングで使用される、ドライバ計算式に似たプランニング メソッドです。1つのプランニング アプリケーション内で共有するためにグローバルに設定したり、PeopleSoft Enterprise ウェアハウスを通じて複数のプランニング アプリケーション間で共有するように設定したりできます。
金融制裁	<p>米国に拠点を置く企業やその企業の海外の子会社は、米国財務省海外資産管理局 (OFAC) の連邦規制により、支払前に取引先が特定国籍業者 (SDN) リストの対象かどうかを確認することが求められます。</p> <p>PeopleSoft Enterprise 買掛金管理、eSettlement-決済管理、資金管理、および Order to Cash では、取引先が金融制裁リスト (SDN リストや欧州連合のリストなど) の対象であるかを確認できます。</p>
クラス チャートフィールド	予算を予算期間、資金、部門 ID、およびプログラムコードと組み合わせた場合に、一意の支出予算キーを識別するためのチャートフィールド値です。以前はサブ分類と呼ばれていました。

グループ	<p>PeopleSoft Enterprise 請求管理と売掛金管理では、1 つまたは複数の取引で構成される転記対象を指します。たとえば、アイテム、入金、振替、マッチング、償却などがあります。</p> <p>PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理とサプライチェーン マネジメントでは、PeopleSoft ビジネス プロセスで計算を実行するため、同一の名前または変数に関連付けられたレコードのセットを指します。たとえば、PeopleSoft Enterprise 勤務管理では、従業員は勤務時間報告用のグループにまとめられます。</p>
グローバル制約	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、複数のストラテジックソーシングビジネス ユニットに適用される制約を指します。複数のストラテジックソーシングビジネス ユニットの全てのイベントにわたって支出が追跡されます。
契約	PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、支払条件、銀行情報、通知などの処理オプションを、購買者とサプライヤの所在地の組み合わせによってグループ化および指定するための手段です。
原価プロファイル	受領原価計算方法、原価フロー、および払出原価計算方法の組み合わせです。プロファイルは台帳に関連付けられ、その台帳におけるアイテムの評価方法や、アイテムの物理的移動の評価方法を決定します。
現在の学習内容	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、現在進行している全てのラーニング アクティビティおよびプログラムに対するセルフサービスリポジトリを指します。
検索クエリー	検索エンジンにクエリー文字列と演算子を渡すために使用されます。検索インデックスは、一致する結果のセットをソースドキュメントへのキーと共に返します。
検索/マッチング	PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理において、データベース内の重複するレコードを検索、特定するための機能です。
合計コスト	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、特定の落札方法の見積コスト(実際の金額と、“ソフトダラー”すなわち現金などの直接の支払以外の支払手段によるものの合計)を指します。
購買イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、イベント作成者にとっては、商品やサービスを購入することを指し、通常は見積依頼、提案、またはリバースオークションに関連付けられます。入札者にとっては、商品やサービスを販売することを指します。
購買者	PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、システム内でサプライヤ(取引先)と取引をする組織またはビジネス ユニットを指します(個人ではありません)。購買者は、システム内で実行された購買に対する支払いを作成します。
顧客サブグループタイプ	詳細な履歴、エージング、イベント、およびプロファイルの生成が可能な区分に顧客を分類するための値です。
コストプラス価格設定	PeopleSoft Enterprise Pricer において、商品の原価を基準に価格を設定する方法を指します。
コストプラス契約行	報奨、固定、奨励金、またはその他の料金コンポーネントに関連付けられるレートベースの契約行です。料金タイプが“なし”に関連付けられるレートベースの契約行は、コストプラス契約行とは見なされません。
コレクション	ドキュメントのセットを Verity で検索可能にするには、最初にコレクションを少なくとも1 つは作成する必要があります。コレクションとは、ディレクトリおよびファイルのセットです。コレクションにより、検索アプリケーションのユーザーが Verity 検索エンジンを使用して、検索条件に一致するソースドキュメントをすばやく検索および表示することが可能になります。コレクションは、ファイル サーバー別に固有のフォーマットで格納されたソースドキュメントに対する統計値とポインタで構成されます。コレクションは単一の場所の情報しか格納できないため、PeopleTools では検索索引オブジェクトごとに複数のコレクションのセット(言語コードごとに1 つ)が管理されます。

コンテキスト	<p>PeopleCode において、PeopleCode プログラムの実行中に、前後関係から見てどのバッファフィールドが参照可能か、各スクロールレベル上の現在のデータ行がどの行か、などを判断する基準を指します。</p> <p>PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プロセスの実行範囲の決定に使用されるメカニズムを指します。PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、計画、期間、および実行レベルの 3 つのタイプが使用されます。</p>
コンテンツ参照	ポータルレジストリに登録されているコンテンツへのポインタです。通常は URL か iScript のいずれかになります。コンテンツ参照は、ターゲットコンテンツ、テンプレート、およびテンプレートページレットの 3 つのカテゴリに分類されます。
コントロールテーブル	アプリケーションの処理を制御する情報が格納されます。このような情報は、組織全体を通じて一貫している場合もあれば、データの共有がより限定され、組織の一部分によってのみ使用される場合もあります。
コンポーネント インターフェイス	API (アプリケーション プログラミング インターフェイス) のセットであるコンポーネント インターフェイスを介すことにより、PeopleSoft クライアントを使用していなくても、プログラムを通じて PeopleSoft Enterprise データベース情報にアクセスしたりデータを修正したりすることができます。
サードパーティ	PeopleSoft によって認定され、PeopleSoft Enterprise アプリケーションと互換性のある製品やインテグレーションを提供する会社やベンダーです。通常は PeopleSoft Enterprise の製品に関して幅広い知識を持っています。
最適化エンジン	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングで使用される PeopleTools コンポーネントで、入札を評価して割り当てる、最適な落札金額を決定します。推奨落札金額は、購買と会社の目的および制約に従って価額が最大になるように設定されます。
作業指示	PeopleSoft Enterprise サービスプロキュアメントにおいて、サービスプロバイダとの契約の基本条件を指定する、リソースベースや成果物ベースの取引を作成できるようにします。サービスプロバイダと契約したら、そのサービスプロバイダは作業指示に従って時刻と進捗状況を記録します。
作業別歩留	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、生産されるアイテムに対し、作業ごとの損失を見積もる機能です。
サブビジネスプロセス	ビジネスプロセスのサブセットです。たとえば、“資金管理”というビジネスプロセスのサブセットとして“キャッシュポジションの決定”というサブビジネスプロセスがあります。
サマリツリー	要約元帳内のレポートのタイプごとに勘定科目をロールアップするために使用されるツリーです。サマリツリーを使用すると、ツリーのツリーを定義できます。サマリツリー内の詳細値は、実際には詳細ツリーまたは別のサマリツリー (基本ツリー) 上のノードにあります。サマリツリーの構造によって、そのサマリツリーの土台となる詳細値が指定されます。
参加者	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者は奨励報酬計算プロセスの受取人のことです。
参加者オブジェクト	各参加者オブジェクトは、1 つまたは複数の給与オブジェクトに関連付けられます。“給与オブジェクト”を参照してください。
参照オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、このディメンジョンタイプのオブジェクトによってビジネスをより詳細に定義します。参照オブジェクトには、製品ツリー、顧客ツリー、業種ツリー、地理ツリーなど、独自の階層を定義できます。
参照データ	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、担当地域、参加者、製品、顧客、チャネルなどの販売単位を表すシステム オブジェクトのことです。

参照取引	コミットメントコントロールにおいて、より上位のレベルの（かつ通常はより最近の）ソース取引によって参照されるソース取引を指します。これは、参照先取引の予算チェック済み金額の一部または全てを自動的に取り消すために行われます。これにより、異なるコミットメントレベルで取引が順次入力される際に重複転記を防ぐことができます。たとえば、エンカンパランス取引（発注など）の金額が予算と比較してチェックおよび記録される際、同時に、対応するブレエンカンパランス取引（調達依頼など）の金額の一部または全てが参照され自動的に取り消されます。
資金	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、プロモーション アクティビティへの資金を供給する予算です。資金供給方法には、トップダウン、固定計上、ローリング計上、ゼロ基準計上の4つがあります。
資産クラス	レポート目的に使用される資産グループです。資産区分と組み合わせて使用することにより、資産をさらに綿密に分類できます。
システム機能	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、一般会計の会計入力がシステム内でどのように作成されるかを定義するアクティビティです。
システム ソース	<p>システム ソースによって、データベースの取引行のソースが識別されます。たとえば、PeopleSoft Enterprise 経費管理から開始するトランザクションには、システム ソースコード“BEX”（経費管理バッチ）が含まれます。</p> <p>PeopleSoft Enterprise プロジェクトコスト管理で請求用のソース取引行の価格を設定すると、新規行のシステムソースを表すシステムソースコード“PRP”（プロジェクトコスト価格設定）が付いた行が作成されます。システムソースコードでは、PeopleSoft Enterprise システム内外のソースを表すことができます。たとえば、Microsoft Project から PeopleSoft Enterprise アプリケーションにデータをインポートするプロセスでは、ソースコード“MSP”（Microsoft Project）が付いた取引行が作成されます。</p>
実行レベルコンテキスト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のプロセス実行（およびバッチ ID）を期間コンテキストとプランコンテキストに関連付けるために使用します。特定のプロセス実行に関連する全てのプランコンテキストには個別の実行レベルコンテキストがあります。1つのプロセス実行が複数の期間にまたがることはできないので、各プランコンテキストには1つの実行レベルコンテキストだけが関連付けられます。
支払サイクル	PeopleSoft Enterprise 買掛金管理において、支払作成の際に、支払予定を選択するための基準を定義するルールセットを指します。
従業員/非従業員	ワークフォースの一員となる個人です。従業員または非従業員が含まれます。
重要度	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、イベント全体に対する行または質問の重要度を指します。重要度は入札のスコア付けと分析に使用します。RFx イベントとRFI イベントでは、重要度は入札者に示される場合と示されない場合があります。
出張グループ	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、特定のビジネスユニット、部門または従業員に関連付けられる組織の出張規定および方針を指します。PeopleSoft Enterprise 経費管理の出張機能を設定する場合は、出張グループを1つ以上定義する必要があります。また、旅行会社には出張グループを1つ以上定義して関連付ける必要があります。
出張パートナ	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、組織が契約関係を結んだ旅行会社を指します。
取得価格行	チャートフィールドのセットに対する原価取引と金額です。
条件	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、与信限度額に達したり、ユーザー定義の未払残高を超えたりして、顧客の勘定のステータスが変更された場合に発生する状況を指します。

消費税対象外(非課税)	消費税の課税対象ではない商品やサービスを指します。消費税対象外の商品やサービスを提供する組織は、関連する仮払消費税を回収することはできません。これは、回収不能免除とも呼ばれます。
消費税保留	消費税支払の一時的免除を許可された組織を指します。
消費税免除(免税)	組織の性質を理由に消費税支払の永久的免除を許可された組織を指します。
消費税例外	組織に対して許可された、一時的または永久的な消費税支払免除のことです。これには、消費税免除と消費税保留の両方の状況が含まれます。
奨励オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management の計算プロセスと結果を定義およびサポートする、奨励関連のオブジェクトのことです(プラン テンプレート、プラン、結果データ、ユーザー介入オブジェクトなど)。
奨励ルール	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、取引に対して動作し、それらを報酬に変えるコマンドのことです。1つのルールは、取引を報酬に変えるプロセスの一部分です。
所在地	さまざまなタイプの住所を示すために使用します。たとえば企業の場合、請求書受け取り先、出荷先、郵送先などの各住所や、別の建物などを表すために使用できます。各住所には異なる所在地番号があります。1で表される主要所在地は、最も頻繁に使用する住所を示します。これは、主住所とは異なる場合があります。
シリアル/ロット構成	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、シリアル管理アイテムの生産工程を追跡するための機能です。
シリアル/ロット生産管理	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、製造アイテムのシリアル情報を追跡するための機能です。この情報は、アイテム マスター レコード内で管理されます。
シングル サインオン	シングル サインオンを使用すると、ユーザーは PeopleSoft Enterprise アプリケーション サーバーによる認証を受けた後、ユーザー ID やパスワードを再入力せずに2つ目の PeopleSoft Enterprise アプリケーション サーバーにアクセスできます。
シンジケート	会社のカタログの実用バージョンをパートナーに配布することです。
進捗ログ	PeopleSoft Enterprise サービス プロキユアメントにおいて、成果物ベースのプロジェクトを追跡するために使用されます。進捗ログは、タイム シートと同様に機能し処理されます。サービス プロバイダの担当者は、進捗ログを使用して成果物の進捗状況を記録および提出します。進捗状況は、実行されるアクティビティごとに記録するか、作業の完了率で記録するか、またはプロジェクトに対して定義されているマイルストーン アクティビティの完了ごとに記録することができます。
スコア	PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングでは、イベントの入札要因に対する回答数(パーセント)を指します。スコアはオークション イベント入札者にのみ示されます。
ステージ	選択したパートナー オファーを、企業の他のパートナーからのオファーと統合する方法です。
ステップ	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、プラン内のセクションのコレクションを指します。各ステップは、ジョブ実行に含まれる特定のステップに対応します。
スピードチャート	複数のチャートキーを指定するユーザー定義の省略キーです。支払伝票入力に使用されます。スピードチャート定義内の各チャートキーにパーセンテージを関連付けることもできます。
スピード入力	チャートフィールド値の組み合わせを表すコードです。スピード入力を使用すると、一緒に使用されることの多い複数のチャートフィールドを簡単に入力できるようになります。

製品	PeopleSoft Enterprise またはサードパーティの提供する製品を指します。PeopleSoft では、提供するソフトウェア製品を製品ファミリまたは製品ラインに分類しています。Interactive Services Repository には、PeopleSoft によって販売される全ての製品の各リリースに関する情報が提供されています。また認定されたサードパーティの製品についても情報提供されています。それぞれの製品は、製品名とリリース番号によって区別されています。
製品カテゴリ	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management 製品スイート内の 1 アプリケーションを指します。PeopleSoft Enterprise Incentive Management システム内の各取引は、特定の製品カテゴリに関連付けられます。
製品追加	製品 A を購入すると製品 B が無料または特定の価格で購入できるようにする価格設定機能です (以前の名称は “無償提供品”)。
製品ファミリ	共通の機能を持つ製品のグループを指します。Interactive Service Repository で検索に使用できる製品ファミリ名としては、オラクル社の PeopleSoft Enterprise、JD Edwards EnterpriseOne、JD Edwards World、サードパーティ (認定されたパートナー) があります。
製品ライン	PeopleSoft Enterprise 製品ラインまたは認定されたパートナー (サードパーティ) の会社名を指します。Integration Services Repository では、製品ラインごとにインテグレーション ポイントを検索することもできます。
制約	ソーシング イベントでの落札方法に関する業務方針またはルールです。制約には、ビジネス、グローバル、イベントの 3 つのタイプがあります。
積載	PeopleSoft Enterprise 在庫管理において、まとめて出荷される商品のグループを指します。積載管理は、重量、容積、および出荷先を追跡するために使用される PeopleSoft Enterprise 在庫管理の機能です。
セキュリティイベント	コミットメントコントロールにおいて、セキュリティ権限チェックをトリガするイベントです。たとえば、予算の入力、振り替え、および調整、例外の上書きと通知、照会などがあります。
セクション	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のタイプの取引に対して適用される奨励ルールのコレクションを指します。セクションを使用することにより、プランをセグメント化して、異なるセクション内の論理イベントを処理することが可能になります。
セッション	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、1 つのアクティビティの各集合日を指します。つまり、1 日の開始時刻と終了時刻の間の時間です。セッションには、日付、場所、集合時刻、および講師の情報が格納されます。セッションはスケジュールの決められた研修に使用されます。
セッション テンプレート	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、アクティビティのスケジュール設定に繰返し使用できる共通のアクティビティ特性を設定したものです。共通の特性としては、曜日、開始/終了時刻、施設と教室の割当、講師、設備などが挙げられます。セッション テンプレートは、スケジュールを設定する対象のアクティビティに関連付けることができます。アクティビティにテンプレートを関連付けると、テンプレートの全てのデフォルト情報がアクティビティ セッション パターンに入力されます。
設定パラメータカタログ	PeopleSoft Enterprise と連携する外部システムを設定するために使用されます。たとえば、設定パラメータカタログを使用して、外部サーバー用の構成および通信のパラメータを設定できます。
設定プラン	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、設定プランは共通の変数 (奨励ルールではありません) についての割当情報を保持するもので、参加者のないノードに関連付けられます。設定プランは取引によって処理されるものではありません。

設定リレーションシップ	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、任意のストラクチャノードに設定プランを関連付ける関係オブジェクトタイプを指します。
ゼロ税率/ゼロ消費税	税率が0パーセントの消費税コードを持つ消費税取引を指します。実際には消費税が課税されない消費税対象アクティビティを追跡するために使用されます。ゼロ税率の商品やサービスを供給する企業は、関連する仮払消費税を回収できます。これは回収可能免除とも呼ばれます。
先行タスク	次のタスクを開始する前に終了する必要があるタスクです。
ソーシング目標	制約において、ビジネスルールを必要(必須)にするか、推奨(目標)のみにするかを指定するオプションを指します。
ソース取引	コミットメントコントロールにおいて、コミットメントコントロールと統合された PeopleSoft Enterprise またはサードパーティアプリケーションで生成された取引で、コミットメントコントロール予算との比較チェックが可能な取引を指します。たとえば、プレエンカンパランス、エンカンパランス、支出、認識済収入、回収済収入などの取引がこれに当たります。
属性/値(ペア)	PeopleSoft Enterprise ディレクトリ インターフェイスにおいて、ディレクトリ情報ツリー内のエントリを構成するデータを表します。
代替勘定科目	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、一部の国で必要とされる特別な記録方法や申告方法に従って、法定の勘定科目一覧表を作成したり勘定取引を詳細取引レベルで入力したりできる機能です。
台帳	PeopleSoft Enterprise 資産管理において、取得価額、減価償却属性、処分などの会計および税関連の情報を格納するために使用されます。
タイムスパン	PeopleSoft Enterprise 一般会計のさまざまな機能やレポートにおいて、特定の日付ではなく一定の期間が必要となきときに使用できる相対的な期間です。たとえば、会計年度の初めから今日までの期間や当期間などがあります。
代理入札	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、入札者の代わりに入札を行うことを指します。代理入札者は、入札者が指定した金額を下げたり上乗せして、その入札者が落札できるようにします。
タスク	詳細なソーシングプランの成果物アイテムです。
多通貨	ビジネスユニットの基本通貨以外の通貨で、取引を処理できる機能です。
段階価格	スケジュールを分割してそれぞれに異なる価格を設定できます。
短期顧客	テンプレートを使用した受注入力時に入力された、システムに登録されていない顧客です。
地域ソーシング	PeopleSoft Enterprise 購買管理において、複数の入荷先所在地を地域別にグループ化したソーシングモデルに基づいて、適切な取引先と取引先価格設定の構造を管理、表示、および選択するためのインフラストラクチャです。ソーシングは、入荷先所在地より上位のレベルで行われる場合もあります。
チェックブック	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、資金やプロモーションに関連する財務データ(計画、発生、および実際の金額)を参照するために使用します。
チャートキー	テーブル内の各行を一意に識別するための1つまたは複数のフィールドです。テーブルによって、キーとなるフィールドが1つだけの場合もあれば、複数必要な場合もあります。
チャートフィールド	PeopleSoft Enterprise アプリケーションに応じて、勘定科目やリソースなどの一覧を格納するフィールドです。各チャートフィールド値は、個別の勘定科目番号や部門コードなどを表します。

チャートフィールド一致	特定のチャートフィールドを、取引の貸借が常に一致するよう指定することができます。
チャートフィールド組合せ編集	ユーザー定義のルールに基づき、有効なチャートフィールドの組み合わせに対して仕訳行を検証するプロセスです。
チャネル	PeopleSoft マルチチャネル フレームワークにおいて、電子メール、チャット、ボイス (CTI (Computer Telephone Integration)) などのイベントや汎用イベントを指します。
調整プラン	取引に複数の価格ルールが適合する場合の調整の役割を果たします。調整プランでは、取引の基本価格に適用する価格ルールの順序を決定します。
直接受領	倉庫または取引先から別の倉庫に出荷されるアイテムです。
直納	取引先または倉庫から顧客に直接出荷されるアイテムです。
ツリー	全ての会計単位 (社内部門、プロジェクト、レポーティンググループ、勘定科目番号など) 間の関係と要約上の階層を視覚的に表すために、PeopleSoft Enterprise システムで使用される階層です。
提供方法タイプ	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、組織内で選択可能なラーニング アクティビティの提供方法を示します。オンライン学習、教室での指導、セミナー、教本などがあります。このタイプによって、提供方法にスケジュール型のコンポーネントが含まれるかどうかが決まります。
提供方法/配送方法	<p>PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、それぞれのラーニング アクティビティを提供するための主な方法を示します。また、ラーニング アクティビティのデフォルト値 (費用や言語など) も併せて指定されます。これは主に、学習者が最も適した提供方法をカタログで検索できるようにする目的で使用されます。PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントは混合型の学習システムなので、特定の提供方法を強制することはありません。</p> <p>PeopleSoft Enterprise サプライチェーン マネジメントでは、商品を出荷先へ送る手段 (トラック、航空、鉄道など) を示します。配送方法は、出荷スケジュールの作成時に指定されます。</p>
ディメンション	PeopleSoft 分析計算エンジンでは、分析モデルの基本的なコンポーネントとして、多岐にわたって使用される 1 種類のデータのリストがディメンションに格納されます。ディメンションは、分析モデル内で 1 つまたは複数のキューブに関連付けられます。PeopleSoft キューブ マネージャでは、OLAP キューブの最も基本的なコンポーネントとして、ディメンションの階層構造の作成に使用される PeopleSoft メタデータを指定します。PeopleSoft 分析計算エンジンで使用されるディメンションとデータキューブは、PeopleSoft キューブ マネージャで使用されるディメンションと OLAP (オンライン分析処理) キューブとは無関係です。
ディレクトリ情報ツリー	PeopleSoft Enterprise ディレクトリ インターフェイスにおいて、ディレクトリの階層構造を表します。
データエレメント	<p>最も単純なレベルでは、データのサブセットと、それらをグループ化するためのルールを定義するものです。</p> <p>ワークフォース アナリティクスでは、ワークフォース グループについてどのデータを取得し、どの測定値を適用するかをシステムに定義するルールを指します。</p>
データキューブ	PeopleSoft 分析計算エンジンにおいて、種類別にデータ (受注データなど) を格納するものです。データキューブは、1 つまたは複数のディメンションと併せて使用されます。PeopleSoft 分析計算エンジンで使用されるディメンションとデータキューブは、PeopleSoft キューブ マネージャで使用されるディメンションと OLAP (オンライン分析処理) キューブとは無関係です。
データ取得	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、外部のソースシステムから業務取引の生データを取得し、それをオペレーショナル データストア (ODS) に渡すプロセスのことです。

データセット	データをロールベースでフィルタリングおよび配布するためのデータグループです。データセットルールをユーザーロールに関連付けることにより、ユーザーごとに表示されるデータの範囲と量を制限できます。データセットルールを使用すると、ユーザーのロールに対して適切なデータのセットを取得できます。
テーブルセット	実際のデータ値は異なってもテーブルの構造が同じであるコントロールテーブル間で、類似する値セットを共有するための方法です。
テーブルセット共有	同じテーブルセットに基づく複数のテーブル内に格納されている共有データです。テーブルセット共有を使用しているテーブルには、追加キーまたは固有 ID として SETID フィールドが含まれます。
手配タスク	PeopleSoft Enterprise サービスプロキュアメントにおいて、サービスプロバイダを利用するにあたって発生する管理タスクを指します。手配タスクは、作業指示のサービスタイプにリンクされます。これにより、サービスのタイプに応じて異なる手配タスクを適用することができるようになります。手配タスクには、承認前タスク(新しい記章の割り当てや新しいノートパソコンの注文など)と承認後タスク(説明会のスケジュールリングやサービスプロバイダ宛て電子メールの設定など)があります。手配タスクは、必須にすることもオプションにすることもできます。必須の承認前タスクの場合、作業指示が承認される前に完了しておく必要があります。これに対し、必須の承認後タスクは、作業指示がサービスプロバイダにリリースされる前に完了しておく必要があります。
テリトリ	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、地域、製品、顧客、業種、参加者などのビジネスオブジェクトの階層関係のことです。
店頭受取数量	店頭販売の環境で顧客が持ち帰る製品の数量です。
店頭販売	顧客との対面取引です。通常、顧客が店頭で商品を選んだり、事前に注文した製品を受け取ります。顧客は商品の代金を店頭で支払います。商品は倉庫から発送してもらう代わりに、店頭で受け取り自分で持ち帰ります。
テンプレート	特定の Web ページに関連付けられた HTML コードです。ページのレイアウトや、ページの各部に対応する HTML の取得場所が定義されます。PeopleSoft Enterprise では、テンプレートを使用して、多数のソースから HTML を連結して 1 つのページを構築します。PeopleSoft Enterprise ポータルでは、全てのテンプレートがポータルレジストリに登録され、各コンテンツ参照にはテンプレートが割り当てられている必要があります。
動的詳細ツリー	ユーザーによって入力された値の範囲からではなく、データベースのテーブルから詳細値(動的詳細)を直接取得するツリーです。
ドキュメント連番	法定レポートの作成や商取引アクティビティの追跡に使用する目的で、システム内の会計取引(請求、発注、入金、支払など)に連続した番号を柔軟に付けるための方法です。
特別価格設定	PeopleSoft Enterprise 受注管理において、価格ルールに関連付けられる調整プランタイプの 1 つです。特別価格設定は、受注取引の価格設定に使用されます。
トランスレートテーブル	データベース内のフィールドで、専用の編集テーブルを必ずしも持っていないさまざまなフィールドについて、コードとトランスレート値を格納するシステム編集テーブルです。
取引ステータス	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与ルールによって取引に割り当てられた値を指します。取引ステータスを使用すると、システム処理の特定のステージにある取引だけがセクションで処理されるようにすることができます。正常に処理された場合、取引は次の取引ステータスに更新され、別の処理を実行するために異なるセクションによって取得されます。
取引割当	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、取引のオーナーを識別するプロセスを指します。取引の生データがバッチからプランコンテキストに割

	り当てられると、取引は PeopleSoft Enterprise Incentive Management の取引テーブルにコピーされます。
トレース適用	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、生産プロセス中にどの構成部品を追跡するかを制御する機能です。追跡できるのは、シリアル管理およびロット管理されている構成部品です。この情報は、アイテム マスターレコード内で管理されます。
入札回答	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングでは、イベントに対して入札者が回答することを指します。
入カイベント	PeopleSoft Enterprise 一般会計、売掛金管理、買掛金管理、購買管理、および請求管理において、単一の取引から生じる複数の借方および貸方を生成して、標準の補足会計入力を作成するビジネスプロセスです。
認証サーバー	システムのユーザーを確認するよう設定されたサーバーです。
ノードツリー	詳細構造に基づいているものの、詳細値は使用されないツリーを指します。
パートナー	ユーザー企業によって再販売または購入される製品やサービスを提供する企業を指します。
発生	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、プロモーション関連の支払義務が発生することを指します。つまり、プロモーション アクティビティについて顧客にその金額を支払う義務があることを意味します。
パブリッシュ	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、奨励関連の結果を参加者に対して利用可能にする処理ステージのことです。
販売イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、イベント作成者にとっては、商品やサービスを販売することを指し、通常はフォワードオークションに関連付けられます。入札者にとっては、商品やサービスを購入することを指します。
ビジネス アクティビティ	サブビジネス プロセスを構成するサブセットです。ビジネス プロセス内で実行する特定のトランザクション、タスク、アクションなどがこれに当たります。
ビジネス イベント	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、手形アクティビティに対する売掛金更新プロセスの処理特性を定義します。 PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management イベント（販売など）の作成の妥当性を示す、元となるビジネス取引またはアクティビティを指します。
ビジネス タスク	ビジネス プロセスを構成する個々の機能です。
ビジネス プロセス	PeopleSoft Enterprise 製品ファミリでは、17 の標準ビジネス プロセスが定義および管理されています。これらのビジネス プロセスは、ビジネス プロセス エンジニアリング グループによってサポートされます。ビジネス プロセスの例としては、受注、契約、在庫管理と出庫、請求までの一連の流れを管理する“オーダーフルフィルメント”などが挙げられます。 サブビジネス プロセスの説明も参照してください。
ビジネス ユニット	経営上または会計上の役割という点で独立している、企業または企業のサブセットを指します。
ビジネス ユニット制約	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、選択したストラテジックソーシング ビジネス ユニットに適用される制約を指します。選択したストラテジックソーシング ビジネス ユニット内の全てのイベントにわたって支出が追跡されます。
評価ルール	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、顧客の勘定や個別のアイテムの状況を評価して、フォローアップアクションを生成する必要があるかどうかを自動的に決定するためのユーザー定義ルールです。

ファクト	PeopleSoft Enterprise アプリケーションにおいて、ソース データベースや分析アプリケーションのフィールドから取得される数値データの値です。収益、実績、予算データ、売上など、業務を評価するためのあらゆる値がファクトに該当します。ファクトは、ファクトテーブルに格納されます。
フェーズ	レベル 1 のタスクを指します。タスクにサブタスクがある場合、レベル 1 のタスクはフェーズと見なされます。
複数帳簿	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、1 つのビジネス ユニットに対し複数の基本通貨に対応する複数の元帳を定義することを指します。1 つの取引を全ての基本通貨(全ての元帳)に転記するか、1 つの基本通貨(1 つの元帳)に転記するかを選択できます。
複製	PeopleCode において、固有のコピーを作成することです。単なる“コピー”では、オブジェクトへの参照が新しく作成されるだけの場合もあり、その場合は元のオブジェクトが変更されると、コピーとオリジナルの両方が変更されます。
プランニング インスタンス	PeopleSoft Enterprise 供給管理において、供給計画の入力と出力を構成するデータのセット(ビジネス ユニット、アイテム、供給、需要)を指します。
プラン	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management エンジンに取引の処理方法を指示する配賦ルール、変数、ステップ、セクション、および奨励ルールのコレクションのことです。
プラン コンテキスト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン コンテキストによって参加者がその割り当て先の給与プランとノードに関連付けられ、それにより、PeopleSoft Enterprise Incentive Management システムはそのノードに何が関連付けられているかや給与処理の実行に何が必要かを判断します。各参加者、ノード、およびプランの組み合わせは、固有のプラン コンテキストを表します。たとえば、3 人の参加者が同じ給与構造の場合、それらの参加者はそれぞれ異なるプラン コンテキストを持ちます。設定プランはプラン コンテキストによって識別され、それらを参照する参加者に関連付けられます。
プランチ	PeopleSoft ツリー マネージャで定義されたツリー階層において、上位ノードから分岐しているノードのことです。
プラン テンプレート	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プランを作成するためのベースとなるものを指します。プラン テンプレートには、テンプレートから作成する全てのプランによって継承される共通のセクションと変数が含まれます。テンプレートにはまた、プラン定義内では確認できないステップやセクションが含まれる場合もあります。
プログラム	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、カタログ アイテムの各セクションの学習順序を示した大まかなグループ単位を指します。PeopleSoft Enterprise ラーニングシステムには、カリキュラムと認定という 2 つのタイプのプログラムがあります。
プロジェクト取引	PeopleSoft Enterprise プロジェクトコスト管理において、コスト、時間、予算、またはその他の取引行を表す個々の取引行を指します。
プロセス インスタンス	各プロセスリクエストを識別するための一意の番号です。この番号は自動的に増加しながら、プロセスリクエストの実行時に提出されたリクエストに割り当てられます。
プロセス カテゴリ	PeopleSoft プロセス スケジューラにおいて、サーバーのロード バランシングと優先順位を基準にグループ化されたプロセスを指します。
プロセス グループ	PeopleSoft Enterprise Financials において、ユーザーが取引入力ページからリアルタイムに直接開始できるアプリケーションプロセスのグループを指します。プロセスは、定義された順序で実行されます。

プロセスジョブ	複数のプロセス定義を1つのジョブリクエストに関連付け、各リクエストを連続または並行して処理します。また、先行するリクエストのリターンコードに応じて、後続のプロセスの開始を制御することができます。
プロセスタイプ	PeopleSoft プロセス スケジューラにおいて、プロセスの種類を識別します。たとえば、SQR のプロセスタイプには、SQR プロセスや SQR レポートなど、全ての SQR プロセスが含まれます。
プロセス定義	各実行リクエストを定義します。
プロセスランコントロール	ランコントロール ID を参照する全てのリクエストについて、実行時に必要となる PeopleSoft プロセス スケジューラの値を取得するための PeopleTools 変数です。アプリケーションランコントロールと混同しないよう注意してください。後者も同じランコントロール ID を使用して定義される場合がありますが、各アプリケーションプロセスリクエストに固有の情報だけが含まれます。
プロセスリクエスト	PeopleSoft プロセス スケジューラを通じて実行する単一の実行リクエストです。SQR (Structured Query Report)、COBOL またはアプリケーション エンジンプログラム、Crystal レポートなどがあります。
プロモーション	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、通常、取引資金から資金供給され、消費財の売上を伸ばすために製造元によって行われるプロモーションを指します。
ページレット	ホームページ上のコンテンツの各ブロックをページレットと呼びます。ページレットは、ページ上の小さな四角形の領域内にサマリ情報を表示します。ページレットを使用することで、PeopleSoft Enterprise の内外を問わずユーザーに最も関連のあるコンテンツを提供することができます。
変数	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、計算の中間結果を指します。変数は計算結果を保持し、後で他の計算に入力されます。変数は、エンジンの実行後も保持されるプラン変数である場合と、特定のセクションの処理中にだけ存続するローカル変数である場合があります。
編集テーブル	固有のレコード定義を持つデータベース内のテーブルです。たとえば、部門テーブルなどがあります。PeopleSoft Enterprise アプリケーションでフィールドに値が入力されると、システム全体を通じてデータの整合性を確保するために、編集テーブルと照合して値が検証されます。
ベンチマーク職務	PeopleSoft Enterprise ワークフォース アナリティクス ソリューションにおいて、職務に対する給与調査データがサードパーティ機関から公にされている職務コードを指します。
法定勘定科目	財務結果の記録と申告について行政当局から要求される勘定科目です。PeopleSoft Enterprise では、これは代替勘定科目 (ALTACCT) チャートフィールドに相当します。
ポータルレジストリ	PeopleSoft Enterprise アプリケーションにおいて、コンテンツ参照を編成、分類、および登録するためのツリー構造です。フォルダによる階層ツリー構造を使用して、ポータルの構造とコンテンツの両方を定義します。これにより、コンテンツ参照の整理とセキュリティの確保を効率的に行うことができます。
保管レベル	PeopleSoft Enterprise 在庫管理において、資材保管場所のレベルを識別します。資材保管場所は、ビジネスユニット、保管区域、および保管レベルで構成されます。保管レベルは4つのレベルまで設定できます。
保存済入札	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、作成済みで提出していない入札を指します。落札資格を得られるのは、提出した入札のみです。
マーケットテンプレート	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のマーケットや業種に固有のものとして、製品カテゴリの最上位に作成される補足機能のことです。

マッチンググループ	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売掛金アイテムとマッチング相殺アイテムのグループを指します。マッチンググループは、選択されたフィールド値に対するユーザー定義のマッチング条件を使用して自動的に作成されます。
未受付取引	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、データ喪失や不完全データなどが原因で割当処理の完了後にノードや参加者によって受け付けられなかった取引を指します。未受付取引は、給与管理者によって適切なノードまたは参加者に手動で割り当てられる場合があります。
未転記アイテム	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、入力または自動作成されたものの、まだ転記されていない個々の売掛金（請求書、貸方メモ、償却など）を指します。
メタ SQL	メタ SQL のコンストラクトは、プラットフォーム固有の SQL サブ文字列に展開されます。これは、SQL オブジェクト、SQLExec 関数、PeopleSoft アプリケーション エンジン プログラムなどで、SQL 文字列を渡す関数で使用されます。
メタ文字列	SQL 文字列リテラルに含まれる特別な表現です。メタ文字列には、プレフィックスとしてパーセント記号(%) が付けられ、文字列リテラルに直接含まれます。実行時には、使用されているデータベースプラットフォームに対応する適切なサブ文字列に展開されます。
持分法	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、親会社が1か月ごとに子会社の純利益を計算し、その金額を調整して、連結の実行前に投資額と資本収益額に反映させることができるビジネスプロセスです。
元帳マッピング	経費データを一般会計の勘定科目からリソース オブジェクトに関連付けるために使用します。複数の元帳行アイテムを、1つまたは複数のリソース ID にマッピングできます。また、元帳マッピングを使用して、ビジネス ユニットに金額(レート)をマッピングすることもできます。金額をマッピングする際は、会計期間の実際のコストを表す実際金額と、キャパシティレートや予算モデル結果の計算に使用できる予算金額の2種類でマッピングできます。PeopleSoft Enterprise ウェアハウスでは、一般会計の勘定科目を EW 元帳テーブルにマッピングできます。
有効日	PeopleSoft Enterprise アプリケーション内の情報に日付を付ける方法です。システムに履歴データを追加するために過去の日付を指定したり、実際に有効になる前にデータを入力する場合は将来の日付を指定することもできます。有効日を使用することにより、古い値を削除せずに、新しい値を現在の有効日で入力できます。
ユーザー介入オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、参加者が自分のコンテキストでアクセスできるレポーティング コンポーネントやレポートを定義するために使用します。PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management の全てのユーザー インターフェイス オブジェクトおよびレポートは、ユーザー介入オブジェクトとして登録されます。ユーザー介入オブジェクトは、給与関係オブジェクトを通じて(個別またはグループで)給与構造ノードにリンクすることもできます。
要約期間	PeopleSoft Enterprise ビジネスプランニングにおいて、他の要約期間や基本期間(四半期や年間)など、複数の期間の集合体である任意の期間を指します。基本期間はこれに該当しません。
要約チャートフィールド	特定の詳細値または選択したツリー ノードに基づいて、詳細金額をロールアップする要約元帳を作成するために使用します。詳細値がツリー ノードを使用して要約されている場合は、ノード名の最大長(20 文字)に対応するため、要約チャートフィールドを要約元帳データレコード内で使用する必要があります。
要約元帳	明細元帳からの勘定科目残高の合計を格納するため、主に配賦、照会、および PS/nVision レポート作成で使用される会計機能です。要約元帳を使用すると、レポート作成がリクエストされるたびに明細元帳の残高を集計する手間が省け、レポート作成の効率性とスピードが向上します。要約元帳には、ユーザー指定の条件に従ってバックグラウンドで処理された明細残高が保存されます。値が保存された要約元帳には、レポート作成時に直接アクセスできます。

予算会計のみ	システムによってのみ使用される勘定科目で、ユーザーが使用することではなく、取引を受け付けることもありません。この勘定科目では予算会計のみが可能で、以前は“システム管理勘定科目”と呼ばれていました。
予算期間	予算やレポート関連の目的で分割された時間の間隔です(月や四半期など)。チャートフィールドでは、1つの暦だけに制限されることなく、経営上の会計期間を非常に柔軟に定義できます。
予算コントロール	コミットメントコントロールにおいて、コミットメントと支出が予算を超過しないように管理する機能です。予算コントロールにより、予算額に対する取引額を追跡し、定義された予算条件が満たされない場合はドキュメントのサイクルを終了することができます。たとえば、発注に関連する予算の資金が足りない場合に、発注書が取引先に送付されるのを防ぐことができます。
予算チェック	コミットメントコントロールにおいて、コントロール予算元帳に照らし合わせてソース取引を処理し、取引がパスするかどうか、または警告付きでパスするかを検証するプロセスです。
予測アイテム	需要予測の基準として使用される需要データと予測データの固有のセットから成る論理要素です。予測アイテムは、さまざまな用途で作成されますが、最終的には組織内で購入、販売、または使用され、使用の予測が必要とされるアイテムを表します。
予約	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、旅行会社に予約済みの出張予約を指します。
ラーニング環境	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者グループが利用できるカテゴリやカタログ アイテムのセットを指します。また、ラーニング環境ごとに作成されるラーニング アクティビティやプログラムに割り当てられるデフォルト値も併せて定義されます。ラーニング環境を使用すると、カタログを区別化することにより、学習者からは自分たちに関連するアイテムしか見えないようにすることができます。
ラーニング コンポーネント	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、ラーニング アクティビティの基本構成単位を指します。PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、Web ベース、セッション、Webcast、テスト、調査、課題という6つのタイプのラーニング コンポーネントをサポートしています。この中の1つまたは複数のコンポーネントによって、1つのラーニング アクティビティが構成されます。
ライブラリ セクション	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のプラン(またはテンプレート)で定義され、他のプランでも共有できるセクションのことです。ライブラリ セクションに加えた変更は、それを使用する全てのプランに反映されます。
ランコントロール	プロセスを開始するために使用されるオンライン ページの1タイプです。プロセスの例としては、給与計算のバッチ処理などがあります。ランコントロール ページでは、通常データを操作するプログラムが開始されます。
ランコントロール ID	ユーザーとランコントロール テーブルのエントリを関連付ける一意の ID です。
理想回答	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングでは、入札する場合に、落札資格を得るためには回答を理想値と一致させる必要がある質問を指します。回答が理想値と一致していない場合、入札はできますが、不適格な入札と見なされ落札資格は得られません。
リモートデータ/ソースデータ	別のデータベースから抽出され、ローカルのデータベースに移行されたデータです。
流通業取引アクティビティ	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、割引を受けるのに必要なパフォーマンスを定義する、取引のプロモーションに関連付けられた割引タイプを指します(請求時値引き、請求後値引き、一括支払など)。業界一般で使われている用語では、オファー、値引き、販促イベント、戦術などに該当します。

旅程	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、出張予約をまとめたものを指します。旅程には、選択した予約および旅行会社を通じた予約が表示されます。旅程に表示される予約は支払いが済んでいないため、“未完了予約”と呼ばれます。支払いが済んでいる予約は、“確認済予約”と呼ばれます。
リンクセクション	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン テンプレートで定義されていて、特定のプランにも含まれるセクションを指します。リンク セクションに加えた変更は、そのセクションを使用している各プランに継承されます。
リンク変数	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン テンプレートで定義および管理されていて、特定のプランにも含まれる変数を指します。リンク変数に加えた変更は、その変数を使用している各プランに継承されます。
累計	定義済みアイテムの処理時に、その累計値が格納されるエレメントです。累計エレメントには、単一または複数の値について、時間の経過に応じた累計値が格納されます。たとえば、全ての任意控除の金額が累計されるエレメント、または全ての会社控除の金額が累計されるエレメントなどを作成できます。これにより、期間やそれに基づく累計値を柔軟に処理できるようになります。
例外	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売上調整アイテムか未解決アイテムのいずれかを指します。
レコードグループ	論理的および機能的に関連付けられたコントロール テーブルとビューのセットです。レコード グループによって、重複するデータ入力を防ぐためのテーブルセット共有が可能になります。全ての関連するテーブルとビューにおいて、テーブルセットを一貫して共有できるようになります。
レコード名	1 つまたは複数の値が一致する関連フィールドを判別するのに使用されるレコードの名前です。
連結消去セット	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、連結中に処理される会社間勘定科目のグループです。
ロール	PeopleSoft ワークフローにおける各ユーザーの役割を表します。ロールは、担当者や管理者など、行う作業のタイプごとに分類されるユーザーのクラスです。ビジネス ルールの定義では、通常、各アクティビティを行う必要のあるユーザー ロールを指定します。
ロールアップ	ツリー内で、階層に基づいて総額を計算することです。
ロール ユーザー	PeopleSoft ワークフローのユーザーです。個人のロール ユーザー ID は、システムの他の部分で使用されるユーザー ID とほぼ同じ目的で使用されます。PeopleSoft ワークフローでは、ロール ユーザー ID を使用して、ワークリスト アイテムをユーザーに送る方法（電子メールの使用など）を決定すると共に、ユーザーがワークフロー内で果たす役割を追跡します。ロール ユーザーには PeopleSoft ユーザー ID は必要ありません。
ワークシート	PeopleSoft Enterprise BAM（ビジネス分析モデラー）インターフェイスを使用してデータを分析する方法の 1 つです。ユーザーは、ワークシートを使用して、ピボットテーブル、チャート、メモ、および履歴情報に基づく詳細な分析を実行できます。
ワークセット	1 つのセットとして関連付けられる個人と組織のグループです。ワークセットを使用すると、個人と組織のグループのデータ取得と、取得した情報に対する作業を 1 つのページで同時に行うことができます。
ワークリスト	PeopleSoft ワークフローによって自動的に作成されるタスクリストです。ワークリストを使用すると、次のアクションの実行に必要なページに直接アクセスでき、その後再びワークリストに戻って別のアイテムを処理することができます。
割当ルール	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、システムが各ノードおよび関係者に取引を割り当てるために使用する、給与プラン内の式のことで、取引の割り当てを実行するとき、割当エンジンは、現在のノードからルー

割戻

トノードへと給与構造をトラバースし、割当ルールを含んだプランと比較して各ノードをチェックします。

卸売業界において、サプライヤとディストリビュータ間で取り交わされる契約を指し、この契約においては、指定した製品または製品グループが対象の顧客または顧客グループに販売された時点で、ディストリビュータに一定金額が支払われます。

索引

ASGN_VLD_VW ページ 19
ASSGNMT_EARNS_DED ページ 40
ASSGNMT_SUMMARY ページ 29
ASSGN_TYPE_TABLE コンポーネント 7
ASSGN_TYPE_TABLE ページ 7
ASSIGNMENT_DATA ページ 29
ASSIGNMENT_HOMHST ページ 29
CHECKLIST_TABLE コンポーネント 17
CHECKLIST_TABL ページ 18
CHKLST_ITEM_TABLE ページ 18
CHKLST_ITEM_TBL コンポーネント 17
Customer Connection Web サイト x
DEDUCTION_TABLE1 ページ 10
DEPEND_BENEF1 ページ 37
DEPEND_BENEF2 ページ 37
DEPEND_BENEF_ADDR ページ 37
EARNINGS_TABLE1 コンポーネント 9
EARNINGS_TABLE1 ページ 10
EMPLOYEE_CHECKLIST ページ 18
FAMILY_AT_HOST ページ 37
HOME_HOST_ASGN ページ 19
HOME_HOST_DATA ページ 19
IMMEDIATE_FAMILY ページ 37
INTL_CONTACT_TABLE コンポーネン
ト 12
INTL_CONTACT_TABLE ページ 13
INTL_SCHOOL_DEP ページ 43
INTL_SCHOOL_PROGRM ページ 43
INTL_SCHPGM_TABLE コンポーネン
ト 12
INTL_SCHPGM_TABLE ページ 13
JOB_DATA1 ページ 20
JOB_DATA_2 ページ 19
JOB_DATA_BENPRG ページ 20
MAJOR_TABLE 13
MAJOR_TABLE コンポーネント 12
PeopleBook
注文 x
PeopleCode の表記規則 xii
PeopleSoft セットアップ マネージャ 4
PER_ORG_INST_ASGN ページ 19
PERSON_CHECKLIST ページ 18
PERSON_SUMMARY ページ 29
RESIDENCE_HOME ページ 29
RESIDENCE_HOST ページ 29

RUNCTL_PER717 ページ 29
TRAVEL_CMPNY_DEP ページ 35
TRAVEL_CMPNY_PAID ページ 35
TRAVEL_TYPE_TABLE コンポーネント 8
TRAVEL_TYPE_TABLE ページ 8
VEHICLE_DATA ページ 29

あ

アプリケーションの基礎 ix

い

インターナショナル スクール/プログラ
ムの助成金（管理） 43

か

海外赴任

Payroll for North America の支給/控
除コードの設定 9
一時赴任と終身赴任 1
インターナショナル スクール/プログラ
ムの助成金の管理 43
開始 21
管理 17
支給/控除の定義 9
従業員の管理 2
終身赴任先への従業員の異動 21
終身赴任における処理 2
終了 21
スクールおよびオリエンテーション プ
ログラムのデータの入力 13
スクール情報の設定 12
スクールとプログラムの連絡先情報の
管理 14
設定（概要） 5
タイプ 1
チェックリストの作成 17
複数の職務を兼任している場合の追
加 27
複数の本国/赴任先データ レコードと
の関連付け 28
赴任を複数兼任する場合の追加 27
本国の設定 20
海外赴任管理
海外赴任管理について 1
統合 3

導入 1, 4
 ビジネス プロセス 3
 海外赴任給与 (管理) 39, 40
 海外赴任給与ページ 39, 40
 海外赴任従業員リスト ページ 29
 海外赴任詳細ページ 19
 会社負担旅費
 タイプの指定 8
 データの入力 35
 会社負担旅費ページ 35
 家具 (情報の入力) 32
 家族情報ページ 37, 39
 為替変動 (管理) 39
 関連ドキュメンテーション x

き

給与 (海外赴任の管理) 39, 40
 給与計算データ ページ 19, 24
 共通フィールド xv
 勤務地
 扶養家族の削除 39
 扶養家族の追加 38
 勤務地ページ 20

け

警告 xiii

こ

ご意見 xiv
 控除
 Payroll for North America の設定 9
 海外赴任における定義 9
 控除 2 ページ 10, 11
 控除コンポーネント (DEDUCTION_ TABLE1) 9
 控除ページ 10
 個人チェックリスト ページ 18
 個人プロフィール ページ - 扶養家族 データ 37
 雇用情報サマリ ページ 29
 ご要望 xiv
 コンピテンシー (定義) 21

し

支給
 Payroll for North America の設定 9
 海外赴任における定義 9
 支給コードの追加 11

支給コンポーネント (EARNINGS_ TABLE1) 9
 支給ページ 10, 11, 12
 氏名ページ - 扶養家族データ 37
 従業員チェックリスト ページ 18
 従業員の赴任データ (管理) 28
 住居 (情報の入力) 32
 住所ページ - 扶養家族データ 37
 終身赴任先への従業員の異動 21
 出力されたドキュメンテーション x
 乗用車情報 (管理) 33
 乗用車ページ 29, 33
 助成金支払いについての情報 43

す

スクールおよびオリエンテーション プログラムのデータ 13
 スクール情報 (設定) 12
 スクールとプログラム (連絡先情報の管理) 14
 スクール - 扶養家族ページ 43
 スクール/プログラム テーブル コンポーネント (INTL_SCHPGM_TABLE) 12
 スクール/プログラム ページ 13, 43
 スクール/プログラム 連絡先
 先テーブルコンポーネント (INTL_CONTACT_TABLE) 12

せ

税措置 (定義) 11
 セキュリティ
 セキュリティについて 5
 専攻コンポーネント (MAJOR_TABLE) 12
 専攻テーブル ページ 13
 前提知識 ix

そ

相互参照 xiii

た

帯同家族ページ 37

ち

チェックリスト アイテム コンポーネント (CHKLST_ITEM_TBL) 17
 チェックリスト アイテム ページ 18
 チェックリスト (海外赴任用に作成) 17
 チェックリスト コンポーネント (CHECKLIST_TABLE) 17

チェックリスト テーブル ページ 18
 注 xiii
 注意事項 xiii

つ

追加ドキュメンテーション x

と

ドイツ (赴任タイプの定義) 7
 統合 3
 導入
 海外赴任管理ビジネス プロセス 4
 はじめに 1
 ドキュメンテーション
 関連 x
 最新版 x
 出力 x

ひ

ビジネス プロセス 3
 表記規則 xii

ふ

複数の職務 (海外赴任での追加) 27
 複数の赴任先 (海外赴任での追加) 27
 複数の本国/赴任先データレコード 28
 福利厚生データ (追加および表示) 26
 福利厚生プログラム ページ 20, 26
 赴任 (海外)
 開始 21
 終了 21
 赴任先
 設定 20
 定義 2
 赴任先 (追加) 22
 赴任先データ
 住居情報の入力 32
 複数のレコードとの関連付け 28
 赴任先の給与計算データ (追加および表示) 24
 赴任先の住居ページ 29, 32
 赴任先の追加ページ 19, 22
 赴任サマリ ページ 29
 赴任者のコンピテンシー (定義) 21
 赴任タイプ
 定義 7
 ドイツ用定義 7
 赴任タイプ テーブル コンポーネント
 (ASSGN_TYPE_TABLE) 7

赴任タイプ ページ 7
 赴任データ
 管理 28
 追加または表示 25
 入力 29
 赴任データ ページ 29
 赴任ページ 19, 25
 扶養家族
 従業員の赴任に同行する家族 37
 データの入力 37
 データの表示 39
 赴任先からの削除 39
 赴任先への追加 38
 扶養家族情報 (管理) 36
 プログラム連絡先ページ 13, 14

ほ

本拠地 (定義) 2
 本国データ (複数のレコードとの関連付け) 28
 本国の住居ページ 29, 32
 本国/赴任先情報
 入力 30
 本国/赴任先データ
 表示および更新 23
 本国/赴任先データ ページ 19, 23
 本国/赴任先のセキュリティ オプション
 設定 6
 使い方 5
 本国/赴任先の福利厚生データ (追加または表示) 26
 本国/赴任先の赴任データ (追加または表示) 25
 本国/赴任先ページ 29, 30

よ

用語 47
 用語一覧 47

り

旅費, 参照: 会社負担旅費
 旅費タイプ テーブル コンポーネント
 (TRAVEL_TYPE_TABLE) 8
 旅費タイプ ページ 8
 旅費 - 扶養家族ページ 35

れ

連絡先 xiv
 連絡先 (スクールとプログラム) 14

